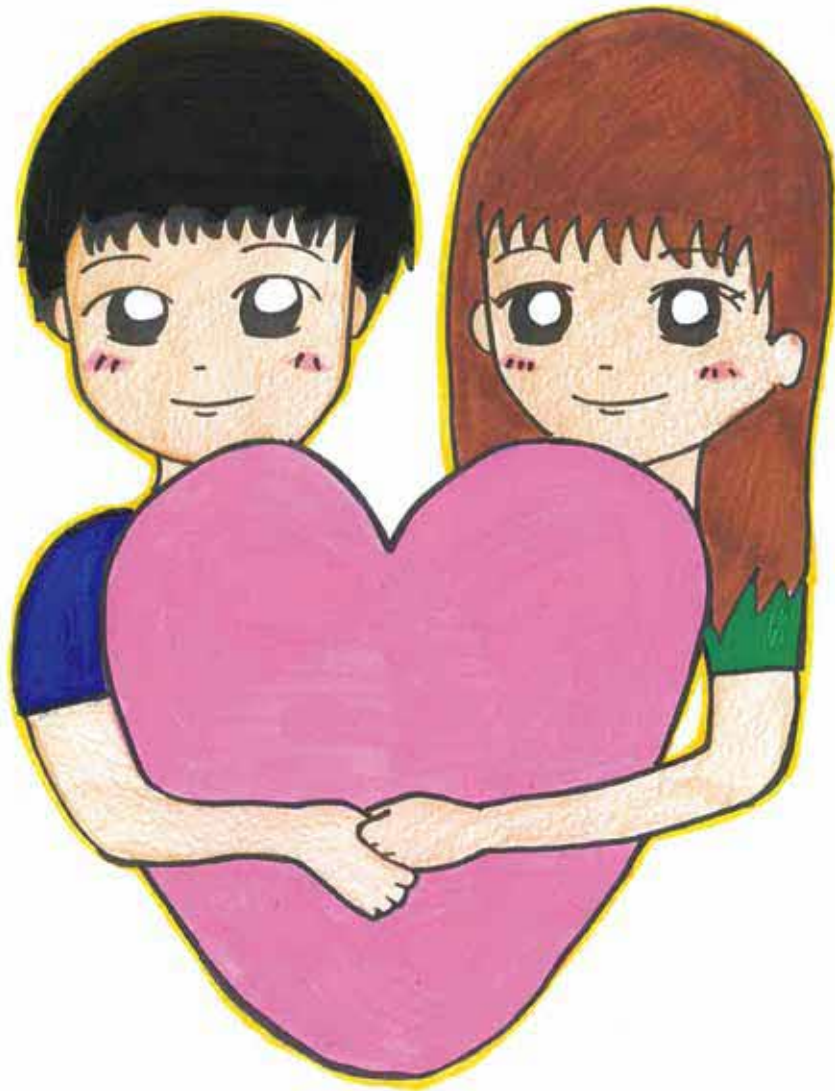


～幼児・小学校低学年向け～

児童養護施設における性(生)教育プログラム
資料・台本集



島根県中央児童相談所

目次

I. はじめに	2
II. プログラムについて	3
✦ 目的	
✦ プログラムの特徴	
✦ プログラム構成	
✦ プログラムの対象選定	
III. 保健師担当部分 資料・台本	6
1. 生命誕生に関する教育	
✦ へそのおの役割	
✦ 生命誕生の話	
✦ 生い立ちの振り返り	
2. プライベートゾーンと性行動のルール	
✦ 性器の名称・プライベートゾーン・性行動のルール	
✦ プライベートゾーンと内性器の理解	
3. 健康管理・清潔を保つための行動・ケガの手当	
✦ 正しい手洗いの方法	
✦ お風呂・トイレの入り方	
✦ ケガの手当	
4. いい／わるいの判断を身につけるための教育	
✦ いいタッチ／わるいタッチ	
5. 自己肯定感を高めるための教育	
✦ ありのままの自分を認める	
✦ いいところ発表	
IV. 心理職担当部分 SST用ワーク台本	33
1. 感情に関する教育	
✦ 基本感情と恥ずかしい気持ち	
2. 被害者にならないための教育	
✦ NO（嫌だ）、GO（逃げる）、TELL（相談する）	
3. 加害者にならないための教育	
✦ 腹が立っても喧嘩をしない方法／仲直りの方法	
4. 友達と仲良くするための教育	
✦ 玩具をみんなで使う方法	
V. リーフレット	61
VI. 評価	70
1. 児童への「個別指導チェックリスト」	
2. 施設職員が記入するチェック表	
VII. プログラム実施の結果	84
VIII. 参考・引用文献	91

I. はじめに

近年ようやく“児童養護施設内の児童間暴力”が問題視されるようになりました。

2008年の児童福祉法改正により施設内虐待という概念が明文化され、「被措置児童等虐待対応ガイドライン」が示されたからです。実際には、児童養護施設における児童間暴力は児童虐待が問題化する以前より存在していたと推察されますが、これまで児童養護施設内の児童間暴力が注目されなかったのは、児童間暴力が外部から見えにくい構造の中で生じるためだと思われます。

施設内暴力は、職員から子どもへの暴力、子どもから子どもへの暴力（児童間暴力）、子どもから職員への暴力の3種類がありますが、今回は、児童間暴力、特に児童間の性暴力に焦点を当てました。性被害は、自己尊重感を損なう体験であり、愛着や対人関係パターンにまで影響を与える深刻な問題だからです。

現在、児童養護施設には、被虐待児童をはじめ家庭内での安心 安全の確保が困難なために入所している児童が数多くいます。児童虐待など養育環境上の課題から、十分な父母モデルを持たず、手洗いや下着の処理といった清潔行動や健康管理などの生活スキルが身に付いていない場合が多いです。また、被虐待児童は、虐待環境への適応を凶ろうとした結果、対人関係の歪みや高い攻撃性を示す場合もあります。

そこで、島根県中央児童相談所では、児童間性暴力防止を目的とし、『児童養護施設における性（生）教育プログラム』を立ち上げました。児童養護施設に必要な性教育を「自分と他者が心身ともに気持ちよく健康に生きるための考え方やスキルを身につけるための教育」と定義した上で、“自分を大切に！他人を大切に！”をテーマに掲げ、表記も性（生）教育としました。つまり、性教育と心理教育が融合したプログラムです。

今回は、幼児および小学校低学年向けのプログラムをご紹介します。

Ⅱ章では、目的 プログラムの特徴 プログラムの構成について説明し、Ⅲ章は保健師が担当した内容、Ⅳ章は心理職が担当した内容について、資料とシナリオを載せています。Ⅲ章、Ⅳ章の上の四角い網掛けは、幼児向け、小学校低学年向け、幼児および小学校低学年向けのいずれかを示しています。

V章は施設職員への配布用に作成したリーフレット、Ⅵ章は児童への個別指導時に理解度を把握するためのチェックリストとプログラム実施による児童と職員の行動変容を評価するための質問紙を添付しています。そして、Ⅶ章では、そのプログラム実施の結果を記し、最後のⅧ章に、参考 引用文献を載せています。

Ⅱ. プログラムについて

⚡ 目的

性（生）教育プログラムの目的は、児童養護施設に入所している児童間の性暴力防止ですが、長期的な視点で考えれば、入所児童が将来、児童虐待の加害者になることを予防する取り組みでもあると考えています。

もう一つの目的は、このプログラムで用いる“キーワード”が、児童養護施設職員と児童の共通概念となり、日頃、施設職員が児童に対して指導しやすくなることです。

さらに、児童相談所職員と児童養護施設職員が協働してプログラムを実施することで、連携を強化することも大きな目的としています。

⚡ プログラムの特徴

プログラムの実施にあたっては、児童相談所職員が単発的な性（生）教育を行うだけでは、効果の持続が期待できません。児童養護施設職員1人1人が、「生活場面での児童との関わりそのものが性（生）教育！」と認識することこそが大事になります。

そこで、児童相談所職員と児童養護施設職員が協働で実施することを重視しました。メンバーとしては、児童相談所職員2名（保健師*、児童心理司各1名）と児童養護施設職員5名程度が適当です。

プログラムは、4セッションの構成で、1回50分で実施するのが適当です。学習を促すため、「セッションごとにキーワードを設定（プログラム構成参照）」し、「集団教育終了時点でのチェックリストによる各児童の理解度の把握と、理解が不十分な箇所の個別指導」を行います。

なお、学習内容を、職員全員が共通の理解に立って日常生活の指導に生かせるよう、プログラムで使用した媒体は、施設内に掲示した上、リーフレットを作成して全職員に配布しました。

プログラム作成にあたっては、静岡県が行っている性（生）教育プログラム（岩清水ら，2006）とセカンドステップ（日本こどものための委員会，2006）、性的虐待を防止するための絵本（安藤，2001）、CAP紹介本：あなたが守るあなたの心・あなたの体（森田，1997）を参考にしました。

注）本プログラムは、児童養護施設職員が実施できるように作成していますので、仮に児童相談所に保健師が配置されていなくても実施可能です。ただし、生命誕生や健康管理・清潔を保つ行動・ケガの手当に関しては外部講師を呼ぶと、より専門的な話を聞くことができると思われます。

↓ プログラム構成

- 目標：①プライベートゾーンと性行動のルールが理解できる
 ②基本感情と安心、恥ずかしい気持ちが理解できる
 ③いい／わるいの判断が身に付く
 ④健康管理や清潔を保つための行動がとれる
 ⑤自己肯定感が高まる

～1回目：今後の学習に最も基本的な概念を学ぼう！～

流れ	内容	キーワード	方法・媒体	ページ
導入	絵本読み聞かせ「おへそのあな」「へそ」の役割について	命の大切さ	絵本「おへそのあな」	p. 8
どんな気持ち？	基本感情(喜び・嫌悪・驚き・悲しみ・恐怖・怒り) + “安心”, “恥ずかしい”	安心な気持ち／嫌な気持ち	表情パネルワーク	p. 35
プライベートゾーン	プライベートゾーンと性行動のルール プライベートゾーンを触られた時の対処	プライベートゾーン 嫌だ、逃げる、相談	人体図	p. 16
個別指導	個別に理解度をチェック		チェックリスト	p. 72

～2回目：生命の尊さを知ろう！いい／わるいの感覚を身につけよう！～

流れ	内容	キーワード	方法・媒体	ページ
導入	絵本読み聞かせ「赤ちゃんが生まれる」	生命誕生	絵本「赤ちゃんが生まれる」	p. 10
* 生命誕生	出生時の体重発表 3kgの赤ちゃん人形を抱く	命の大切さ	母子手帳 赤ちゃん人形	p. 13
いいタッチ／わるいタッチ いい言葉／わるい言葉	いいタッチ・いい言葉：喜び、安心等 わるいタッチ・わるい言葉：恐怖・不安等	いいタッチ／わるいタッチ	絵本「いいタッチわるいタッチ」, 寸劇	p. 28
いいところ発表	1人1人のいいところを発表	自己肯定感	職員から児童への発表	p. 32
1人1人にいいタッチ	身体感覚で心地よさを感じてもらおう	いいタッチ	職員から児童へタッチ	p. 30
個別指導	個別に理解度をチェック		チェックリスト	p. 73

～3回目：嫌な気持ちになった時の対処方法を学ぼう！清潔にする方法を学ぼう！～

流れ	内容	キーワード	方法・媒体	ページ
導入	絵本読み聞かせ「いいタッチ・わるいタッチ」	いいタッチ／わるいタッチ	絵本「いいタッチ・わるいタッチ」	p. 28
わるいタッチをされた時の対処方法(被害者にならないための教育)	わるいタッチをされた時、わるい言葉を言われた時のロールプレイ	嫌だ・逃げる・相談	SST	p. 47
体をきれいに	手洗いの方法／お風呂の入り方 怪我の手当	清潔／不潔	手洗い実験・手洗いの歌	p. 21
* 健康管理				
個別指導	個別に理解度をチェック		チェックリスト	p. 74

～4回目：みんなが安心な気持ちで生活するためのルールを学ぼう！～

流れ	内容	キーワード	方法・媒体	ページ
導入	絵本読み聞かせ「わたしがすき」	好き・愛してる	絵本「わたしがすき」	p. 32
友達と仲良くするための教育	玩具をみんなで仲良く使う方法	一緒に遊ぼう・貸して	SST	p. 57
問題解決スキル *(加害者にならないための教育)	トラブルになりそうな時に、暴言・暴力を使わずに解決する方法	落ち着く・気持ちに気づく・考える	SST	p. 51
いいところ発表	プログラムを通しての1人1人の成長を発表	自己肯定感	職員から児童への発表	p. 32
個別指導	個別に理解度をチェック		チェックリスト	p. 75

*は、小学校低学年のみ実施

↓ プログラムの対象選定

プログラムの対象として配慮すべき対象について述べます。

プログラムの対象選定にあたっては、年齢や知的水準の吟味が必要です。3歳以下の児童及び知的な遅れを有した児童の場合、知的発達の水準上、理解が困難であることが推測されるからです。

その他、プログラム適応の吟味が必要な対象として、例えば、性的虐待を受けた児童が考えられます。性的虐待を受けた児童は、無意識のうちに性的な挑発を他者に向けて性的被害を呼び込む場合や、自分が受けた被害を他者に向ける性加害行為が生じやすいとされています（杉山ら，2009）。また、重度の虐待を受けた児童についても、トラウマ反応として過覚醒状態から情動コントロールの欠如が生じるとされています（西澤，1994）。そのため、性（生）教育プログラムを受けたことが刺激となって興奮状態となり、適切な学習ができないばかりか、他児の視線を自分に向けるために、性をコミュニケーションの手段にする等、不適切な行動が出現する危険性も考えられます。

さらには、発達障害を有する児童をプログラムの対象にする際にも十分な吟味が必要と考えます。例えば、広汎性発達障害（以下、PDD）の児童は自らの行動の社会的意味を読み取ることが難しい上、興味の範囲が狭く深くなる傾向があります。このため、PDDの児童が本プログラムを受けた場合、性に深い興味を抱き、興味を追求した結果、自らの行動の社会的意味を考えずに性問題行動を起こす可能性が考えられます。注意欠陥多動性障害（以下、ADHD）の児童に関しても、本プログラムを契機に性への強い関心を抱いた場合、衝動性の高さから性問題行動を起こす可能性が考えられます。そのため、PDDやADHDの児童に関しては、性に関するどのような行動が社会的に問題とされるのかを具体的に教え、性問題行動を起こしたらどうなるのかまで具体的に分かりやすく教える必要があります。

以上を踏まえ、プログラム実施前に、児童のアセスメントを正確に行った上で対象選定するとともに、プログラム適応の可否を判断するチェックリストを作成することが今後の課題です。

あくまでも、今回ご紹介する性（生）教育プログラムは、予防を重視した性（生）の健康発達を促すための集団教育です。集団教育の中では個別の配慮に限界があるため、性虐待や重度の虐待といった強いダメージを受けた児童や顕著な発達障害の児童など、常に個別の支援を必要とする児童への配慮は十分とは言えません。そのため、個別の支援が前提となる児童については、個別教育のプログラムが必要です。例えば、性被害予防のために「嫌」と断ることを目的としたロールプレイや、バウンダリー形成のためのSST（ジェニー・ハートロッシ，1990）、アンガーマネジメント（ワーウィック・パドニー他，2006；本田恵子，2002）等を丁寧に実施する必要があると考えます。

Ⅲ. 保健師担当部分 資料・台本

1. 生命誕生に関する教育

- ✦ へそのおの役割
- ✦ 生命誕生の話
- ✦ 生い立ちの振り返り

2. プライベートゾーンと性行動のルール

- ✦ 性器の名称・プライベートゾーン・性行動のルール
- ✦ プライベートゾーンと内性器の理解

3. 健康管理・清潔を保つための行動・ケガの手当

- ✦ 正しい手洗いの方法
- ✦ お風呂・トイレの入り方
- ✦ ケガの手当

4. いい／わるいの判断を身につけるための教育

- ✦ いいタッチ／わるいタッチ

5. 自己肯定感を高めるための教育

- ✦ ありのままの自分を認める
- ✦ いいところ発表

1. 生命誕生に関する教育

絵本・台本

幼児・小学校低学年向け

“生命誕生に関する教育”

～命の尊さ・命の重みを伝える～

目的：卵子と精子が合体し、どのようにして胎児が成長するのかを、母親とのつながりや「へそのお」の役割を通じて伝え、生命を授かることの奇跡（尊さ）について理解を促す。また、児童の母子健康手帳を見ながら生い立ちを振り返るとともに、赤ちゃん模型を抱っこして命の重みを感じる。

以上より、児童が自分の命と体、他者の命と体を大切にす気持ちを持てるようになることを目的とする。

方法：1. へそのおの役割：「長谷川善史著 おへそのあな BL出版」の読み聞かせ
「“おへそ”のひみつ」の話

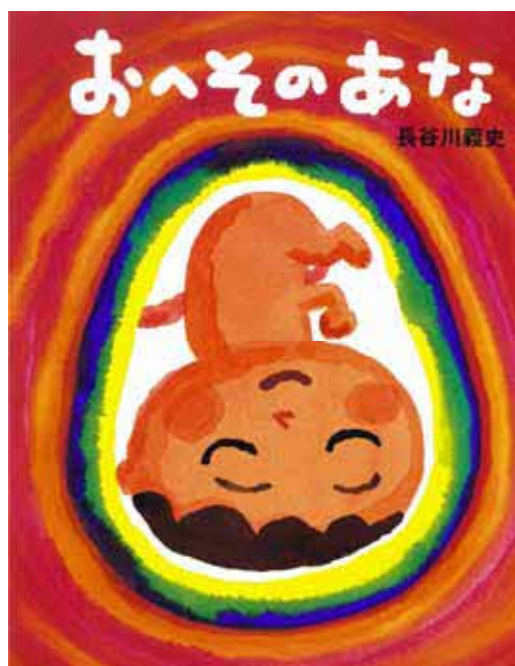
2. 生命誕生の話：「北村邦夫監修 赤ちゃんが生まれる 金の星社」の読み聞かせ

3. 生い立ちの振り返り：母子手帳で出生時の体重・身長を確認
赤ちゃん模型を抱っこ

※2, 3は、小学校低学年のみ実施

----- へそのおの役割 -----

【導入】絵本の読み聞かせ



「長谷川善史著 おへそのあな BL出版」



【PNY 渡會睦子著：CD-ROM 小学生向け 生きるための心の教育（性教育）より一部改変】

台本

- F：みんな、おへそがなんであるのか知ってる？ ※
どんな働きがあるのかな？
にわとりやかめにおへそがあるかな？
- C：「ある」「え、ないよ」・・・
- F：ないんだよね。じゃあ、ねこや牛にはおへそがあるかな？
- C：「ある」「え、ないよ」・・・
- F：あるんだよね。
なんで、おへそがある動物とおへそがない動物があるんだろう？
- C：○○、△△、××、・・・・・・
- F：にわとりやかめは卵で生まれてくるけど、ねこや牛や人間はお母さんの“へそのお”
とつながって生まれてくるよね。
おへそがないのは、卵の中から生まれた証
おへそがあるのは、お母さんのへそのおとつながって生まれた証。

※ F→ファシリテーター、C→子ども達

小学校低学年向け

F：じゃあ、お腹の中で、あかちゃんはどうやって大きくなるのかな？

C：「お母さんの栄養をへそのおから吸って大きくなった」

F：そう、お母さんが食べたご飯やおかずは、血の中に栄養として送られて、
栄養たっぷりの血が、へそのおをとおして、あかちゃんに送られてくるんだよね。
あかちゃんは口から何も食べられないもんね。
でも、うまれる頃には、お母さんのおっぱいが吸えるようになっているから、へその
おをチョッキンと切るんだよ！

★おへそがあるのは、お母さんの“へそのお”とつながって生まれたしるし★

★みんなにおへそがあるのは、命が受け継がれてきた証だね★

おへそのひみつのお話でした。

生命誕生の話

【導入】絵本の読み聞かせ



「北村邦夫監修 赤ちゃんが生まれる 金の星社」

台 本

【導入部分】

F：みんなにとって「なくなったら困るものって何？」

C：「家族」「友達」「魂」「命」・・・

F：そう、家族も友達も大事。でも命がなくなったら、大事な家族とも友達とも会えなくなっちゃうし、好きなおもちゃで遊べないし、楽しいこともできない。

今日は「命」のお話をします。

F：みんな、お母さんのお腹の中で、どんな風に大きくなったのか知ってる？

どのぐらいの期間、お腹の中にいるんだろう？

C：「へそのおから栄養をもらって大きくなる」「3ヶ月ぐらいで生まれる」・・・

F：お母さんのお腹の中には、9ヶ月ぐらいいるんだよ！

F：今から、「あかちゃんが生まれる」という本を読みます。

写真でお腹のあかちゃんがどんな風に大きくなったか見てみましょう。

pp4～6

- ・命の始まりは、「お父さんの精子」と「お母さんの卵子」が会うことから始まります。
- ・精子の大きさはたったの0.05mmでとっても小さいの。
- ・卵子の大きさも0.1mmでとっても小さいの。
- ・だから、精子と卵子が合体しても0.2mmの大きさ。鉛筆で点を書いたぐらいの大きさなんだよ。
- ・3億個の精子が、たった1子の卵子をめがけて飛び出し、競争するの。そこには、沢山の障害物があって、かならず卵子のもとにたどり着くか分からない。
- ・だから、3億分の1以上の確率で、たった1つの精子が卵子にたどり着いて受精卵になるんだよ。
- ・つまり、日本の人口は1億2千万人ぐらいだから、日本一になるよりすごいよね！宝くじがあたるより、もっともっとすごい確率なんだよね。
- ・ここにいる1人1人が生まれてくるのが奇跡なんだよ。

pp8～13

- ・受精後1ヶ月。精子と卵子が合体して、たったの1ヶ月で、心臓や足、手、目の元になる形ができてくるんだよ。
- ・お腹の中では、こうやって水の中に浮かんでいるような状態になっているんだよ。

小学校低学年向け

pp14～19

- ・受精後 2 ヶ月になると、なんと指の形ができはじめるんだね。
- ・それから、目や鼻もできてくるよ。
- ・受精から 9 週間になると、へその緒ができてくるんだよ。
前に勉強したように、このへその緒をとおして、お母さんからの栄養や酸素をもらって大きくなるんだよ。

pp20～23

- ・受精 10 週目。「これなんだ？」・・・そうペニスだよ。このころに性器ができるんだよ。
- ・そして、受精後 3 ヶ月で、もうはっきりと顔ができてくるね。首も耳もできるよ。口の中には歯の元もできるんだよ。

pp24～27

- ・受精後 4 ヶ月になると、胎盤ができるよ。胎盤っていうのは、お母さんからの栄養や酸素が集められるところで、そこからへその緒に送られるんだよ。この時期、急に体が大きくなって体のバランスがよくなるね。なんと指には指紋までできるんだよ！
- ・受精後 5 ヶ月になると、元気よく運動を始めるよ！「胎動」って言って、動いているのがお母さんに分かるようになるんだ。「どんどんどん」元気だよ～ってお腹の中で伝えているんだね。

pp28～33

- ・受精後 6 ヶ月になると、音も聞こえるし、足や手の爪までできるんだよ。
- ・受精後 7 ヶ月になると、脳が発達して、自分で呼吸したり、体温調整できるように準備をはじめると。そろそろお腹から出ても大丈夫だよって。
- ・8 ヶ月 9 ヶ月・・・出産間近。頭を骨盤に固定して、「そろそろ出るからね～」って姿勢を整えるよ。

Pp34～39

- ・そして、「おぎゃ～」って言って生まれてくるね。「おぎゃ～」って言った瞬間に、初めて肺に酸素が送られて、呼吸をし始めるんだよ。初めて息を吸った瞬間だね。生まれてくる時には、お母さんだけじゃなくて、先生や看護師さん、助産師さんが「大丈夫。いつ出てきても大丈夫だよ。待ってるよ。」って手を広げて、生まれてくるのを待っているよ。
- ・呼吸ができるようになると、へその緒が切られて、自分自身の力で生きるんだね。
- ・そして、おかあさんのおっぱいから栄養をもらって、大きくなっていきます。

【本を読み終えて】

- ・お母さんにとって、赤ちゃんを産むのは命がけ。実際に命を落とす人もいるよ。
- ・でも、お母さんが 9 ヶ月間、大事に大事にお腹の中でみんなを育てて、命がけで生んでくれたから、今ここにみんながいるの。
- ・1人1人がかけがえのない大事な存在だね。
- ・生きているだけで100点満点。
- ・与えられた自分の命、友だちの命を大事にしようね。

-----生い立ちの振り返り-----

【母子手帳で出生体重・身長を確認】

F：お腹の中で、赤ちゃんがみるみるうちに大きくなったよね？

F：みんな、生まれた時、何kgぐらいで生まれたか知ってる？身長は何cmだったかな？

C：「床から膝ぐらい」「1メートル」・・・

F：赤ちゃんが生まれてきた時の平均体重は3kg、身長は50cmなんだ！

F：みんな、母子手帳って見たことあるかな？母子手帳っていうのは、赤ちゃんの大切な成長の記録なんだよ。

今から、1人1人に母子手帳を配るから、何kg、何cmで生まれたか見てみよう！

→児童に母子手帳を配布

【赤ちゃん模型を抱っこ・着せ替え】

F：今から実際の赤ちゃんと同じぐらいの大きさの人形を見てもらうよ！

可愛い可愛いあかちゃんを抱っこして、オムツ交換をしてあげよう！



小学校低学年向け

F：どう？重たい？

C：「重たい」「どう抱っこしたらいいかわからない」

F：命の重みだね。お母さんのお腹の中で、こんなに大きくなるんだよ。

まだ首がすわってないから、首を固定させて抱っこしてあげてね。

C：「可愛いね」「抱っこするのが怖い」「洋服脱がすの大変」

F：お着替えもオムツ替えも大変だね。こうやって育ててもらったんだね。

では、これで「命・・・赤ちゃん誕生のお話」を終わります。

2. プライベートゾーンと性行動のルール

資料・台本

“プライベートゾーンと性行動のルール”

～自分と他者の体を大切にするための教育～

目的：“自分の体は自分だけの大切なもの” “他者の体は他者だけの大切なもの” という理解を促すこと、自分と他者の体を大切にするために守るべき性行動のルールを知ingことを目的とする。

まず、性器の正しい名称を学習し、プライベートゾーンがなぜ大切なのかを内性器（生殖器）の仕組みを伝えることで理解を促す。

方法：1. 性器の名称とプライベートゾーン：人体図をもとに説明

2. 性行動のルールとルールを逸脱された場合の対処方法を説明

-----性器の名称・プライベートゾーン・性行動のルール-----

【導入】

F：みんなの体はどこからどこまで？

C：「首から下」「頭から足まで」・・・

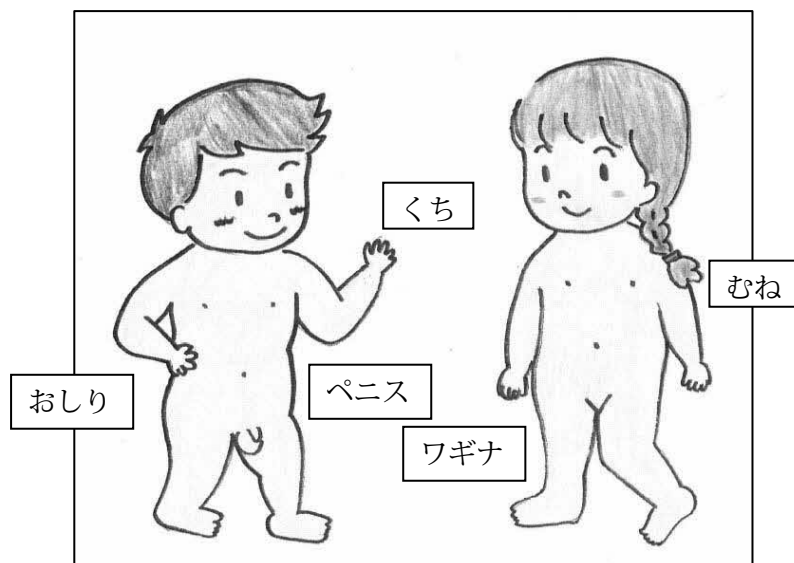
F：体は、頭のとっぺんから足のつま先までだね。（と言いながら、児童に立ってもらい、身体部位をタッチしながら確認）

F：この体は誰のもの？

C：「自分のもの」

F：そう。自分だけの大切な大切な体だよ。

【人体図】



※幼児は「ペニス」「ワジナ」ではなく「おまた」と呼びます

- F：ここに、その大切な体を描いた絵があるね。
どっちが男の子で どっちが女の子か分かる？
- C：左が男の子。右が女の子
- F：どうして左が男の子で、右が女の子って分かった？
- C：左はおちんちんがあるし、右は髪が長いから。
- F：(幼児の場合) そうだね。でも、ここには女の子もいるから「おまた」と言うよ！
(小学校低学年の場合) そうだね。みんなはもう小学生だから、おちんちんじゃなくて「ペニス」と言うよ！女の子のおまたは「ワギナ」と言うよ！
- F：体全部が大事な大事なところだけど、お医者さんに体を見てもらう時、みんなで一緒にお風呂に入ったり、お着替える時以外「他の人に見せてはいけない」「他の人に触らせたらいけない」ところはどこかな？
- C：「おまた」「おしり」・・・
- F：そうだね。じゃあ、正しい場所に、(名称の書いてある) 札を貼ってくれるかな？
※児童に出てきてもらい貼り付けてもらう。
(幼児の場合) くち、むね、おしり、おまただね。
(小学校低学年の場合) くち、むね、おしり、ペニス、ワギナだね。
じゃあ、誰にも見せてはいけないところに、「水着」を着せて隠してあげて！
誰かしてくれる人は？
- C：「僕がしたい」・・・ ※児童に出てきてもらい、水着を貼り付けてもらう。

【プライベートゾーン】



- F：「水着で隠れるところと口」を何というか知ってる？
- C：・・・
- F：ここを「プライベートゾーン」っていうよ！みんなで一緒に言ってみよう！
- C：一斉に「プライベートゾーン」
- F：この大事な「プライベートゾーン」を誰かに見せて欲しいと言われて、見せ

幼児・小学校低学年向け

てあげるのはいいことかな？ダメかな？

C：「ダメ」

F：じゃあ、プライベートゾーンを触らせてって言われて触らせてもいいかな？

C：「ダメ」

F：赤ちゃんや幼児さんのお世話をする時、例えば、オムツ交換やお風呂に入れる時に、大人がプライベートゾーンに触るのはいいかな？

C：「ダメ」「いいよ」

F：いいよね。じゃあ、お友達や先生の「プライベートゾーン」を触るのはいいことかな？

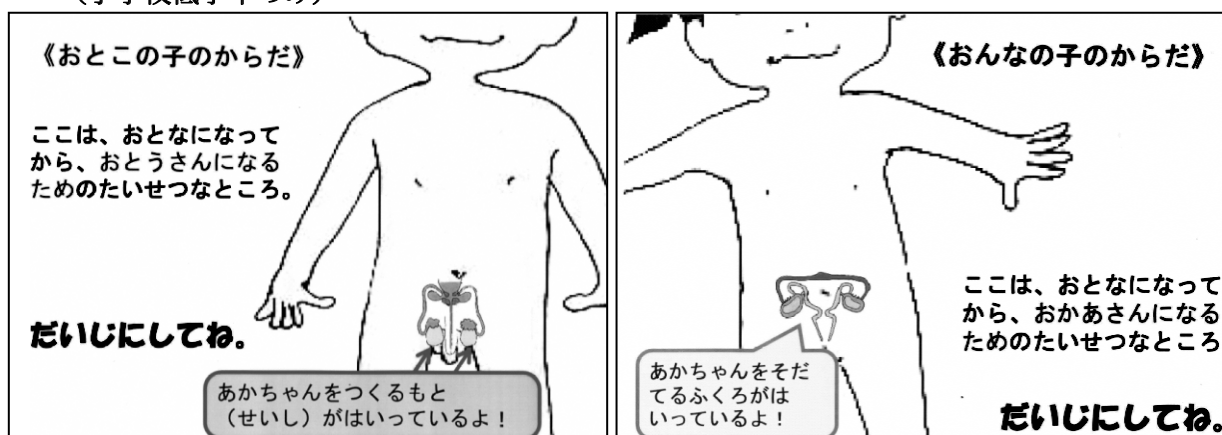
C：「ダメ」

F：みんながいるところで「プライベートゾーン」を見せびらかしてもいいかな？

C：「ダメ」

-----プライベートゾーンと内性器の理解-----

(小学校低学年のみ)



【PNY 渡會睦子著：CD-ROM 小学生向け 生きるための心の教育（性教育）より一部改変】

F：(小学校低学年のみ) プライベートゾーンはなんで大事なのかな？

C：見せてはいけないから。……

F：日本のルールでは、プライベートゾーンを見せることも、触ることも許されていないよね。裸で外を歩くのは犯罪だもんね。

もう一つ、大事な理由は、プライベートゾーンはお父さん、お母さんになるために大事なところだからだよ。

プライベートゾーンの中を覗いてみると、男の子はこんな風になっていて、あかちゃんをつくるもと（せいし）が入っているんだよ。

女の子の中は、こんな風になっていて、あかちゃんを育てる袋がはいているんだよ。女の子の胸は、あかちゃんにおっぱいをあげる場所だよ。

【対処方法】

F：もし、誰かに「プライベートゾーン」を触られたらどうする？

C：「嫌だ」

F：「プライベートゾーン」を触られると、とっても変な気持ち・怖い気持ち・嫌な気持ち
がするよ！

嫌だと言って、逃げる、先生に報告することを守ってね！

みんなで言ってみよう！

C：「嫌だ」「逃げる」「先生に言う」

F：体は自分だけの大事なもの。

自分の大事な体と友達の大事な体を大切にしてください★

3. 健康管理・清潔を保つための行動・ケガの手当

資料・台本

“健康管理・清潔を保つための行動・ケガの手当”

目的：自分の体を清潔にすることは、自分の体を大切にすることでもあるという意識づけを行い、実際に手洗いの練習をすることで、清潔・不潔の観念を身につけることを目的とする。

また、体を清潔にすることは、健康管理につながることを意識づけ、ケガの初期対応や、傷口を清潔に保つ方法を身につけることを目的とする。

方法：1. 正しい手洗いの方法：替え歌で正しい手洗いの方法を身につける。

手洗い実験で、きれいに洗う練習をする。

2. お風呂・トイレの入り方：お風呂に入るときの注意事項を伝える。

3. ケガの手当：擦り傷、火傷の初期対応の方法を伝える。

※3は、小学校低学年のみ実施

-----正しい手洗いの方法-----

【導入】

F：今日は大切な体をきれいにしてお勉強をするよ！

バイ菌って、とってもとっても小さくて見えないけど、一体どこにいるんだろう？

C：「口の中」「お腹の中」「体の中」・・・

F：そうだね。体の中にもバイ菌はいるよね。とっても小さいから、手のしわの中や爪の中にもいるよね。それから、土の中や、川や海など水の中、それから、ヨーグルトや納豆などの食べ物の中にもいるんだ。

バイ菌って言っても「いい菌」と「悪いバイ菌」がいるんだよ。

「いい菌」は人や動物のおなかの中で、人や動物が食べた物から、栄養を作る働きをしているけど、「悪いバイ菌」は、毒を出したり、体の働きを悪くするから、おなかが痛くなったり、熱が出たりするから、気をつけないといけないんだ。

「悪いバイ菌」は、病気の人や動物のうんこの中にはたくさんいるんだ。ほかに、土やよごれた川など水の中にもいるから気をつけなきゃだめだよ。トイレの床も「悪いバイ菌」でいっぱい！

【病気にならないために】

F：病気にならないためには、「悪いバイ菌」を食べたり、飲んだりして、体の中に入らないようにすることが大事！

「悪いバイ菌」が体の中に入らないようにするには、どうしたらいいかな？

C：「うがいをする」「手を洗う」・・・

幼児・小学校低学年向け

F：そうだね。うがいと手洗いが大事だね。どういう時に手洗いが必要かな？

C：「外から帰ってきてから」「ご飯の前」・・・

F：そうだね。「外で遊んだあと」、「トイレの後」、「食事の前」には必ずきれいに手を洗おうね！みんなで一緒に言ってみよう！

C：一斉に「外で遊んだあと」、「トイレの後」、「食事の前」

F：バイ菌は、とってもとっても小さくて、手のしわやつめの中にも入ってるから、せっけんをつかって、時間をかけて、ていねいに洗おうね。

【寒天培地】



F：これは、手にどのぐらいバイ菌がついているか実験したものです。手を洗う前は、こんなにバイ菌でいっぱい！

でも、きれいに石鹸をつけて丁寧に洗えば洗うほど、バイ菌を退治できるね！

今から、バイ菌を退治するための、正しい手洗いの方法を勉強するよ！

【手洗いの練習】



～実演～

- 1 手を合わせてゴシゴシ
 - 2 てのこう かめさんの手
 - 3 おやまを作って指の間
 - 4 ゆびさき くるくる
 - 5 ゆびを一本一本洗おう
 - 6 仕上げは てくびをくるくる～
- ※ 「きらきら星」の替え歌で、手洗い練習

【手洗い実験】



- ① でんぷんのりを手につける
- ② 手洗いの歌を歌いながら十分に手洗いをする
- ③ ヨード液をつける→洗い残しは紫色
→きちんと洗えていれば茶色（ヨード液の色）

-----お風呂・トイレの入り方-----



F：みんなは、まず、お風呂に入ったらどうする？

C：「体を洗う」「お風呂に入る」

F：湯船に飛び込む人はいる？

C：「入る」

F：汚れた体で入ったら湯船がよごれてしまうね！他の人にバイ菌つけちゃうね！

だから、体を洗ってから湯船に入ろうね。

F：じゃあ、体はどこから洗う？

C：「頭から足」

F：頭・首・お腹・背中・・・最後に足だね！床には「悪いバイ菌」がいっぱいだから、足が最後だよ！

F：床にペタンしている人はいる？

C：「たまに床に座る」「ペタンしない」・・・

F：床は「悪いバイ菌」がいっぱいだから、床にペタンはダメだよ！

体をすみずみまできれいに洗ったら、ゆっくり湯船であたたまろう！

体をきれいに拭いたら、きれいな下着をつけようね！

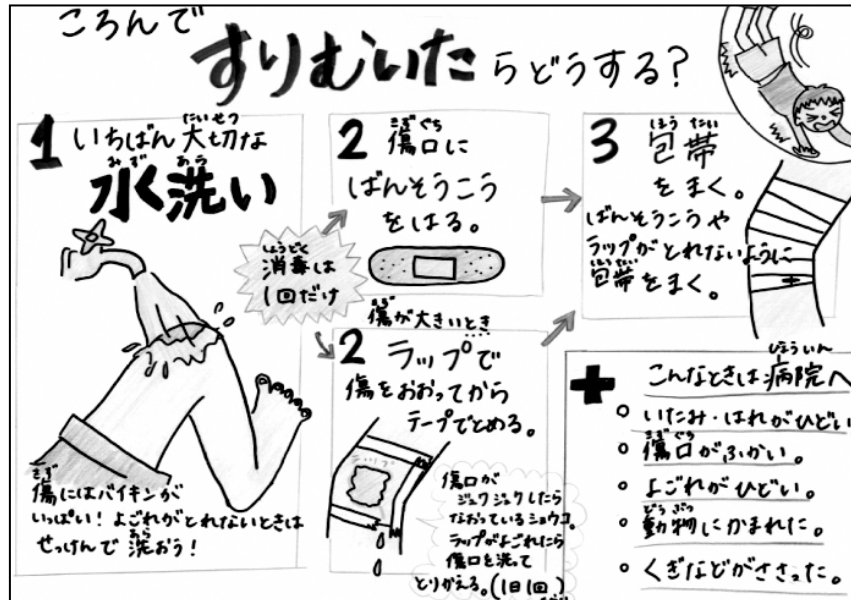
下着を床におくと、下着に「悪いバイ菌」がつくから気をつけようね！

F：女の子の場合、トイレでうんちをした時、ワгина（おまた）に「悪いバイ菌」がつくといけないから、前から後ろに拭こうね！

F：体をきれいにすると元気で気持ちいい！自分も周りの友達も気持ちいい！

ケガの手当

【擦り傷】



【近藤とも子著：ケガと手当 国土社より一部改変】

F：みんなが、ケガをした時に、正しい方法で手当ができるようにお勉強をします。

みんなは、転んで足や手をすりむいた時はどうする？まず最初にどうする？

C：「消毒する」「絆創膏を貼る」・・・

F：擦り傷にはバイ菌がいっぱい！一番大事なのは、「水洗い」

水で洗わずに絆創膏を貼ると、治りが遅くなってしまうよ！

水洗いをしても汚れがとれない時は、石鹸を泡立てて汚れをしっかりと落とそうね！

水洗いの後に消毒をします。でも、消毒は1回だけにしましょう。

F：次ぎに「絆創膏を貼ります」

もしも、傷口が大きくて絆創膏をはみ出してしまうようだったら、

先生に頼んで、サランラップを傷口より大きく切って、ラップの周りをテープで止めよう！

(実演)

傷口がじゅくじゅくしてきたら治っている証拠！

ラップが汚れたら、1日に1回は取り替えて、傷口を水で洗おう！

F：もし、傷口が大きかったら、ラップが剥がれないように。「包帯を巻こう」！

F：とにかく、みんながしないとイケないのは、最初の「水洗い」！

水洗いが終わったら、学校の保健室の先生に処置してもらおうか、〇〇〇〇（児童養護施設名）の先生に処置してもらおうね！

F：もしも、痛みや腫れがひどかったり、傷が深かったり、動物にかまれたり、クギがささった時には、病院にいきましょう！

【火傷】



【近藤とも子著：ケガと手当 国土社より一部改変】

F：次は、“やけど”について

みんな、やけどをしたら、どうする？

C：「冷たい湿布を貼る」「氷で冷やす」・・・

F：大事なものは、すぐに、とにかく水を流したまま冷やし続けること！

30分以上は冷やし続けないといけないよ！

こんな風に洗面器を下に置いておいてもいいよ。

冷やすと痛みが和らぐし、はやく火傷が治ります。

※もしも、服の上から火傷をしたら、服を着たまま水をかけましょう！

※氷を直接あてると、しもやけのような状態になるので、やってはいけません。

F：それから、これは絶対にやってはダメ！というのは・・・

※よくアロエやみそを塗る人がいるけど、それは間違いです。

火傷をした時は皮膚が弱くなっているから、感染を防ぐこと、つまりバイ菌が体に入らないようにすることが一番大事なんですね。だから、何も塗らないこと！

※それから、水ぶくれは絶対に破らないことが大事です！

さっきも言ったように水ぶくれを破るとバイ菌が体の中に入ってしまいうから、治りにくくなってしまいます。

F：もし、痛みが続く時、大きな水ぶくれができた時、火傷で皮膚が白っぽくなった時は、病院に行きましょう！

とにかくみんながしないといけないのは、すぐに水で冷やすこと。病院に行くかどうかは、先生にみてもらって、判断しましょう！

4. いい／わるいの判断を身につけるための教育

絵本・台本

幼児・小学校低学年向け

“いい／わるいの判断を身につけるための教育”

目的：いい／わるいの判断、快／不快の感覚を身につけることを目的に、「いいタッチわるいタッチ」の違いについて理解を促す。

また、実際に児童が好む「いいタッチ」をすることで、身体感覚で“快”感情を伝える。

方法：1. いいタッチわるいタッチ：絵本「安藤由紀著 いいタッチわるいタッチ 岩崎書店」の読み聞かせ

2. 児童の好きな“いいタッチ”でお別れ

※実施にあたっては、心理教育「1. 感情に関する教育」とつなげて理解を促す。

----- いいタッチ／わるいタッチ -----

【導入】絵本の読み聞かせ



「安藤由紀著 いいタッチわるいタッチ 岩崎書店」

【いいタッチ／わるいタッチの分類】

- * いいタッチ：嬉しい、楽しい、安心、心が温くなるタッチ
- * わるいタッチ：痛い、怖い、悲しい、心が変な感じがするタッチ
- * 実際の生活場面で見られる「いいタッチ／わるいタッチ」の絵を児童養護施設の職員さんに描いてもらう。児童に絵を見せながら、「いいタッチか？わるいタッチか？」児童に分類してもらう。

《いいタッチ》



《わるいタッチ》



「絵：安来学園職員さんより提供」

【わるいタッチをされた時の対処】



「絵：安来学園職員さんより提供」

- * もしも、わるいタッチをされたら①「嫌だと言う」②「逃げる」③「先生に言いに行く」という対処方法を伝える。
- * 説明の後に、心理教育「2. 被害者にならないための教育」につなげる。

【いいタッチでお別れ】

- * 講座の最後に、児童1人1人に対して、プログラムに関わる職員全員が、「いいタッチ」をしてお別れをする。

5. 自己肯定感を高めるための教育

絵本・内容

“自己肯定感を高めるための教育”

目的：児童が自分のありのままを認め、“自分を好き”になり“自分ならできる”という自信が持てるようになることを目的とする。

方法：1. ありのままを認める：絵本「安藤由紀著 わたしがすき 岩崎書店」の読みきかせ

2. いいところ発表：児童1人1人のいいところを職員が発表し、みんなで拍手。

----- ありのままの自分を認める -----

【導入】絵本の読み聞かせ



「安藤由紀著 わたしがすき 岩崎書店」

----- いいところ発表 -----

- * みんなの前で、児童1人1人のいいところを児童養護施設職員が発表。
例) 笑顔が可愛い、挨拶ができる、友達いっぱい、絵が得意、しっかり話が聞ける等
- * 発表を聞いて、みんなで拍手する。

IV. 心理職担当部分 SST用ワーク台本

1. 感情に関する教育

- ✦ 基本感情と安心、恥ずかしい気持ち

2. 被害者にならないための教育

- ✦ NO（嫌だ）、GO（逃げる）、TELL（相談する）

3. 加害者にならないための教育

- ✦ 腹が立っても喧嘩をしない方法／仲直りの方法

4. 友達と仲良くするための教育

- ✦ 玩具をみんなで使う方法

1. 感情に関する教育

ワーク台本

“感情に関する教育”

基本感情と安心、恥ずかしい気持ち

目的：6つの基本感情（喜び、嫌悪、驚き、悲しみ、恐怖、怒り）と“安心”、“恥ずかしい”の感情理解を学ぶことにより、「自分や相手がどのような気持ちでいるのか?」、「そのことをしたら、自分や相手はどのような気持ちになるのか?」についての理解を促し、そのことにより、児童が暴力（性暴力を含む）の加害者・被害者になることを予防する。

方法：以下の台本にそってワークを実施する。

台本

【1. 導入部分】※

F：こんにちは、私の名前は〇〇です。今日は、みんなと一緒に人の気持ちや感情について勉強するために来ました。よろしくお願いします。

F：さて、みんなに尋ねるけど、もし、みんながお手伝いをして先生から「ありがとう」って言われたら、みんなはどんな気持ちになる？

C：「嬉しい気持ち」、「よかったって思う」、「またお手伝いしようって思う」……

F：そうだね。“嬉しい”って思ったりするよね。この時の“嬉しい”っていうのが、人の気持ちで感情です。

【2. まずは、考えさせる】

F：人は、他に沢山の気持ちや感情を持っているけど、他には、どんな気持ちや感情があるかな？ 思いつくものをどんどん言ってみて

＊ 上のように投げかけて、子ども達に自由に気持ちや感情を表す言葉を言わせる。

C：〇〇、△△、××、……

＊ 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。

＊ 6つの基本感情と“安心”、“恥ずかしい”の中で子ども達があげていないものがある場合は、「他にも〇〇や××の感情があるね」とホワイトボードに書き加える。

【3. 感情と表情をマッチング】

F：さあ、沢山の気持ちと感情ができました。実は、気持ちや感情には、その気持ちや感情を表す表情や体の動きがあります。今から、いくつかの顔の絵を見せるので、その顔がどんな気持ちや感情を表しているか答えてもらいます。

※ F→ファシリテーター、C→子ども達みんな

〈① 嬉しい気持ち〉

- F：最初はこの顔です（と言いつつ、“喜び”の顔パネルをホワイトボードに貼る）
- C：嬉しい気持ち、〇〇の気持ち……
- ＊ 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。
- F：そう！ 答えは、“嬉しい”です。でも、なんでみんなは、この顔が嬉しい気持ちだって分かったの？
- C：目がにっこりしているから。眉がこんなになっているから。お口がニッてしているから。ホッペがピンクだから。……
- F：そうだね。人は嬉しい時には、目や眉がニコってして、お口もニツとして、ホッペがピンクになって顔色もいいよね。誰かがこんな顔をしている時は、その人は嬉しい気持ちだよ！

〈② 嫌な気持ち〉

- F：今度はこの顔です（と言いつつ、“嫌悪”の顔パネルをホワイトボードに貼る）
- C：えーって気持ち、嫌な気持ち、〇〇の気持ち……
- ＊ 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。
- F：そう！ 答えは、“嫌な気持ち”です。でも、なんでみんなは、この顔が嫌な気持ちだって分かったの？
- C：お口がへ字になっているから。鼻のところが皺になっているから。手がこんなになっているから……
- F：そうだね。人は嫌な気持ちの時には、口がへ字になったり、鼻の筋に皺がよったりするし、手をこんな風にしたりするよね。誰かがこんな顔や格好をしている時は、その人は嫌な気持ちになっているから、自分のやったことで、お友達や先生が嫌な気持ちになっていなか考えてみてよ。

〈③ びっくりした気持ち〉

- F：今度はこの顔です（と言いつつ、“驚き”の顔パネルをホワイトボードに貼る）
- C：驚いている、ビックリした気持ち、〇〇の気持ち……
- ＊ 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。
- F：そう！ 答えは、“驚いている気持ち”、“ビックリした気持ち”です。でも、なんでみんなは、この顔がビックリした気持ちだって分かったの？
- C：口が大きく開いているから。目が大きくなっているから。眉が上がっているから。肩が上がっているから。手がこんなになっているから……
- F：そうだね。人はびっくりした時には、口が大きく開いたり、目が大きくなったり、眉や肩が上がったり、手をこんな風にしたりするよね。誰かがこんな顔をしている時は、その人はびっくりして驚いている筈だから、何に驚いているか確かめてみてね。

〈④ 悲しい気持ち〉

F：今度はこの顔です（と言いつつ、“悲しみ”の顔パネルをホワイトボードに貼る）

C：泣いている、悲しい気持ち、〇〇の気持ち……

＊ 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。

F：そう！ 答えは、“悲しい気持ち”です。でも、なんでみんなは、この顔が悲しい気持ちだって分かったの？

C：涙が出ているから。眉が下がっているから。肩がシュンとしているから……

F：そうだね。人は悲しい気持ちの時には、涙がでたり、眉が下がったり、肩がシュンとしたりするよね。誰かがこんな顔をしている時は、その人は悲しい気持ちの時だから慰めてあげようね。

〈⑤ 恐い気持ち〉

F：今度はこの顔です（と言いつつ、“恐怖”の顔パネルをホワイトボードに貼る）

C：震えている、恐い気持ち、〇〇の気持ち……

＊ 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。

F：そう！ 答えは、“恐い気持ち”です。でも、なんでみんなは、この顔が恐い気持ちだって分かったの？

C：顔が青いから。目や眉が下がっているから。口がなみなみだから。肩がシュンとしているから。手がこんなになっているから……

F：そうだね。人は恐い気持ちの時には、顔が青くなったり、目や眉が下がったり、口がなみなみになったり、肩がシュンとしたり、手がこんな風になったりするよね。誰かがこんな顔をしている時は、その人は恐い気持ちの時だから助けてあげようね。

〈⑥ 怒った気持ち〉

F：今度はこの顔です（と言いつつ、“怒り”の顔パネルをホワイトボードに貼る）

C：怒っている。切れている。〇〇の気持ち……

＊ 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。

F：そう！ 答えは、“怒った気持ち”です。でも、なんでみんなは、この顔が怒った気持ちだって分かったの？

C：顔が赤いから。目や眉が上がっているから。肩が上がっているから。口がこんな風だから……

F：そうだね。人は、怒った気持ちの時には、顔が赤くなったり、目や眉が上がったり、肩が上がったり、口がこんな風になったりするよね。誰かがこんな顔をしている時は、その人は怒っている時だから、何でその人が怒っているかを考えようね

〈基本感情について〉

F：(一つ一つの表情パネルを指示しながら) ここにある、“嬉しい気持ち”、“嫌な気持ち”、

幼児・小学校低学年向け

“びっくりした気持ち”、“悲しい気持ち”、“恐い気持ち”、“怒った気持ち”は、人の気持ちや感情の中でも、生活の中でみんながよく感じる気持ちで、「基本感情」っていいます。どれも大切な気持ちです。

F：この6個の基本感情の他にも、今日は2つの大切な気持ちについて考えたいと思います。

〈⑦ 安心な気持ち〉

F：一つはこれです（と言いつつ、“安心”の顔パネルをホワイトボードに貼る）。

C：笑っている。ホッとしている。寝ている。○○の気持ち……

* 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。

F：そう！ 答えは、“安心な気持ち、ホッとした気持ち”です。でも、なんでみんなは、この顔が、安心な気持ち、ホッとした気持ちだって分かったの？

C：ホッpegがピンクだから。口がこんな風だから。口がフーってしているから。目をつむっているから。

F：そうだね。人は、安心すると、ホッpegがピンクになったり、口がフーってなったり、目をつむったり、とても穏やかな表情になるよね。みんなも安心して毎日が生活できるといいね。もし、毎日の生活が安心できない時は、必ず、学園の先生や学校の先生に相談してね。

〈⑧ 恥ずかしい気持ち〉

F：さあ、次が最後です。最後の気持ちは、「恥ずかしい気持ち」です。みんなは、「恥ずかしい」って思ったり、「そんなことすると恥ずかしいよ」って大人の人やお友達から言われたこと、あるよね。それはどんな時かな。教えて！！

* 子どもの言った言葉を1つ1つホワイトボードにあげてゆく。

C：裸を見られた時。発表する時。髪がボサボサの時。転ぶのを見られた時……

F：そうだね。みんなは、いろんな時に恥ずかしいって思うよね。だから、「恥ずかしい」っていう気持ちは、ちょっと複雑な気持ちなんだ。そして、「恥ずかしい」っていうのは、だいたい3種類あるんだ。

F：1つは、こんな場面（と言いつつ、「褒められる」の場面カードをホワイトボードに貼る）。これは、褒められている場面。こんな時、「なんか恥ずかしい」って思うことあるんじゃないかな？ そして、そう思う時には、照れています。それから、大勢の前で発表する時なんか皆から注目されて照れる時あるでしょ。そんな時も「恥ずかしい」って思います。人は、褒められたり、注目されたりして照れると「恥ずかしい」って思うんだ。

F：さあ、もう1つは、こんな場面（と言いつつ、「着替えを見られる」の場面カードをホワイトボードに貼る）。これは、人の着替えを…見てしまった・見られてしまった場面。こんな時は、見てしまった方も、見られてしまった方も「恥ずかしい」って思うよね。

人は、他の人の裸を見たり、自分の裸を見られたりすると、「恥ずかしい」って思います。

F：そして、最後は、こんな場面（と言いつつ、「小さい子をいじめて叱られる」の場面カードをホワイトボードに貼る）これは、小さい子をいじめて大人から叱られているところ。みんなは、こんな場面で「恥ずかしい」って思うかな？ 思う人いれば、思わない人もいるんじゃないかな。実は、こんな場面での「恥ずかしい」っていう気持ちは、誰もが初めから感じるものではないんだ。大人やお友達と生活するなかで少しずつ身につく気持ちなんだ。この時の「恥ずかしい」は、生活のルールを破ったり、失敗したりして、「あー！しまった。ここにいたくないよー」って感じになっていること。そして、「ここにいたくないよー」って気持ちは、照れて恥ずかしい時も裸を見られて恥ずかしい時にも思う気持ちです。実は、「恥ずかしい」っていうのは、『照れたり、裸を見たり・見られたり、ルールを破ったり・失敗したりして、ここにいたくないよー、人に見られたくないよー』ってことなんだ。

F：だから「恥ずかしい」っていう気持ちは、嫌な感じの気持ちです。特に、これ（着替えを見る・見られる）やこれ（小さい子をいじめて叱られる）はそうだね。そして、人は、嫌な気持ちになると同じ気持ちになりたくないって思って努力します。

F：もし、この場面（着替えを見られる）で、裸を見られた方が「恥ずかしい」って思わなかったらどうなるかな？

C：また、同じことになっちゃう。

F：そうだね。裸を見られるのが恥ずかしくないと、平気で人の前で裸になってしまうよね。そんなの変だよ。そして、着替えを見てしまった方も、裸を見るのが恥ずかしくないと、平気で人の裸を見て、みんなから嫌われてしまうよね。

F：では、こっこの場面（小さい子をいじめて叱られた場面）で、恥ずかしいって思わなかったらどうなるかな？

C：また、同じことをする。

F：そうだね。また、同じ失敗して、叱られてしまうし、他の子どもからも嫌われてしまうよね。

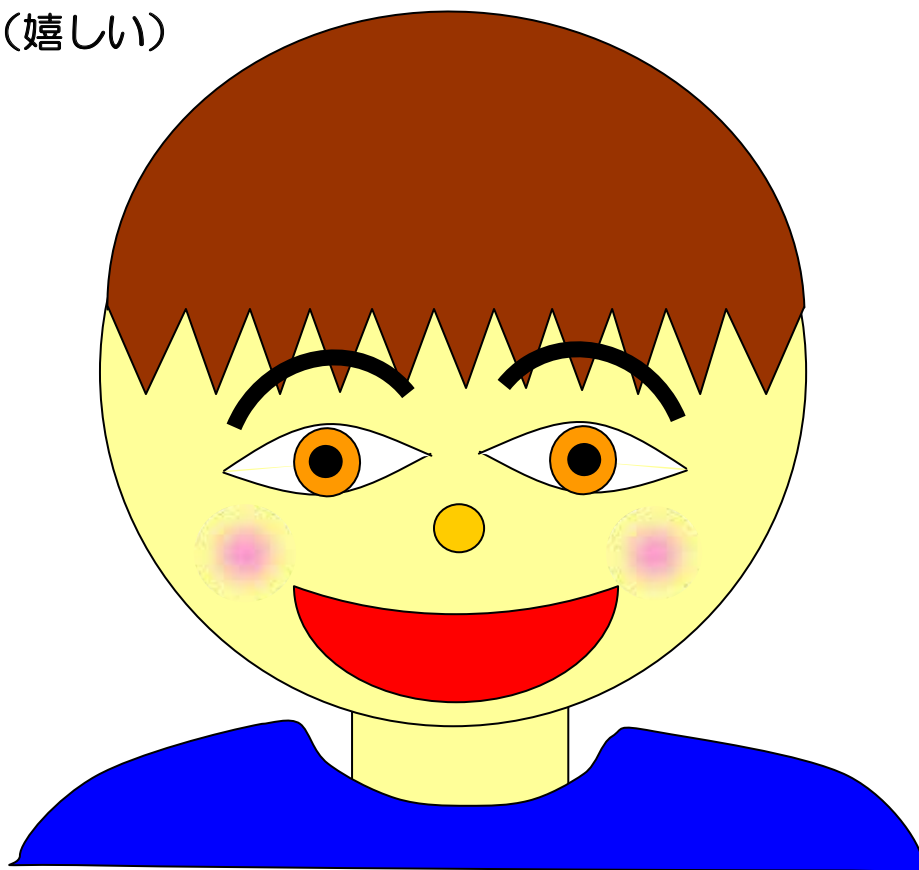
F：だから、皆で仲良く生活するためには、裸を見たり・見られたりしたり、生活のルールを破ったり・失敗したりした時に「恥ずかしい」って思うことは、とても大切なことなんだ。そして、生活する中で、誰かが人の裸を見ていたり、誰かが平気で裸でいたり、誰かが生活のルールを破ったりした時には「そんなことすると恥ずかしいよ」って教えてあげて！

F：さあ、今日は、僕（私）と一緒に6つの基本感情と安心な気持ち、恥ずかしい気持ちについて勉強しました。今日から、自分の気持ち、他の人の気持ちをよく考えながら生活して欲しい。そうすると、きっと、もっとみんなと仲良く生活できるはずですよ。

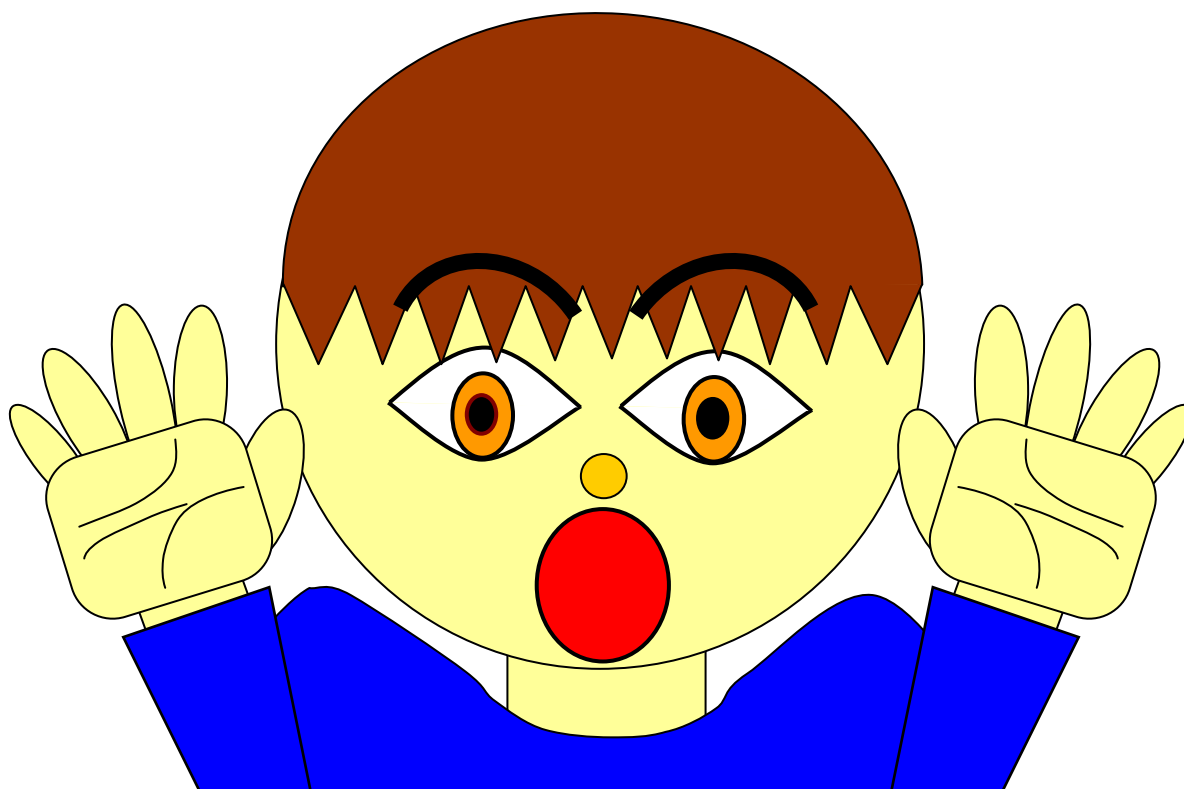
※ <⑧恥ずかしい> は、小学校低学年のみ実施

感情に関する教育
表情パネルと場面カード

喜び (嬉しい)



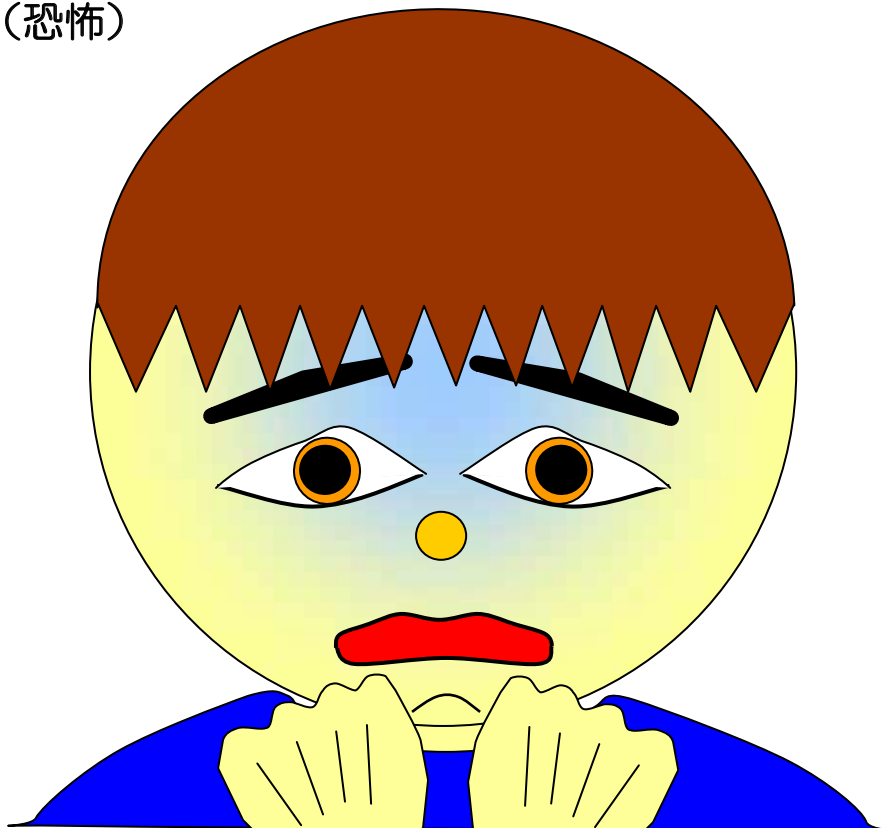
ビックリ (驚き)



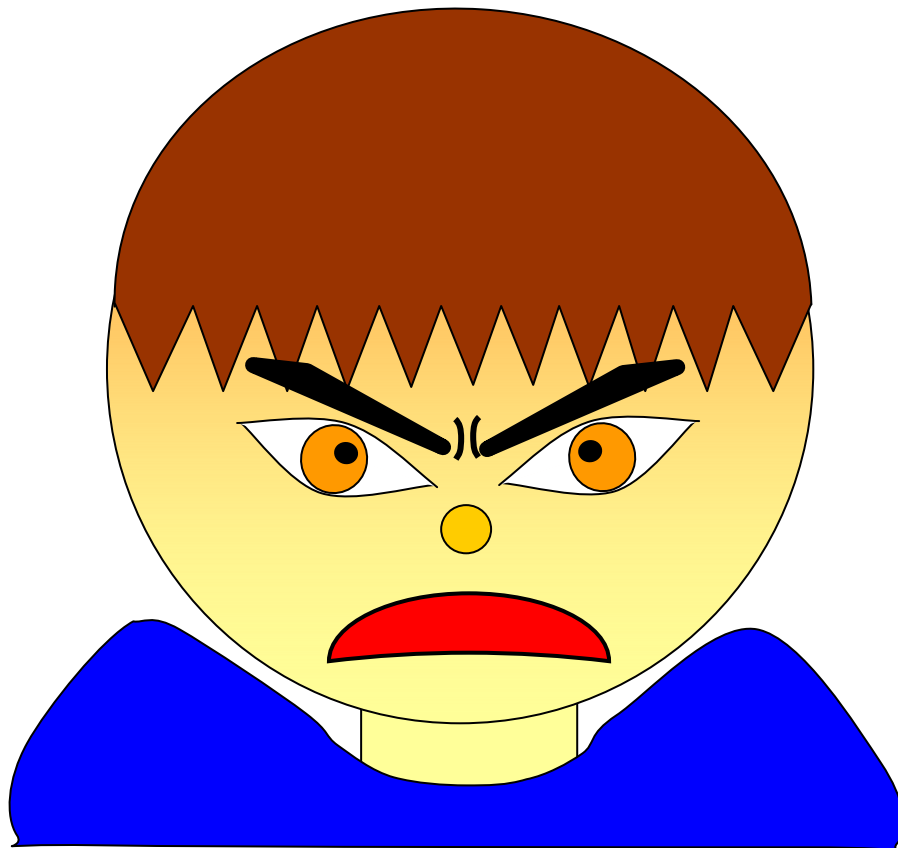
悲しい



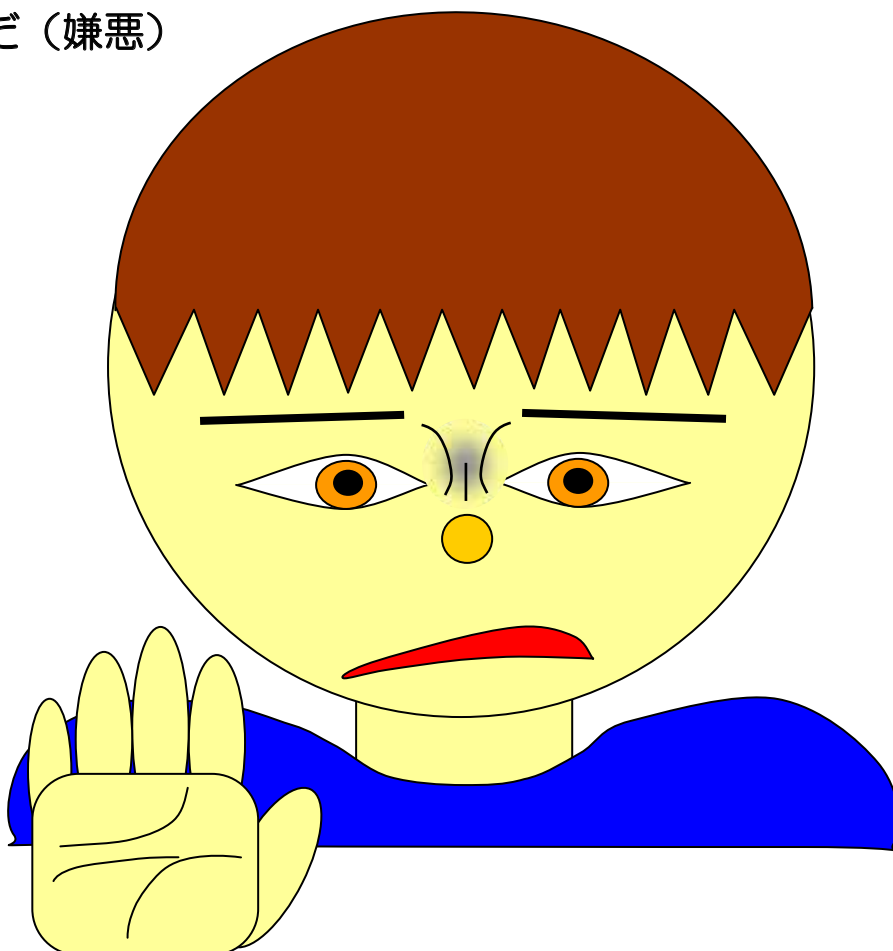
怖い (恐怖)



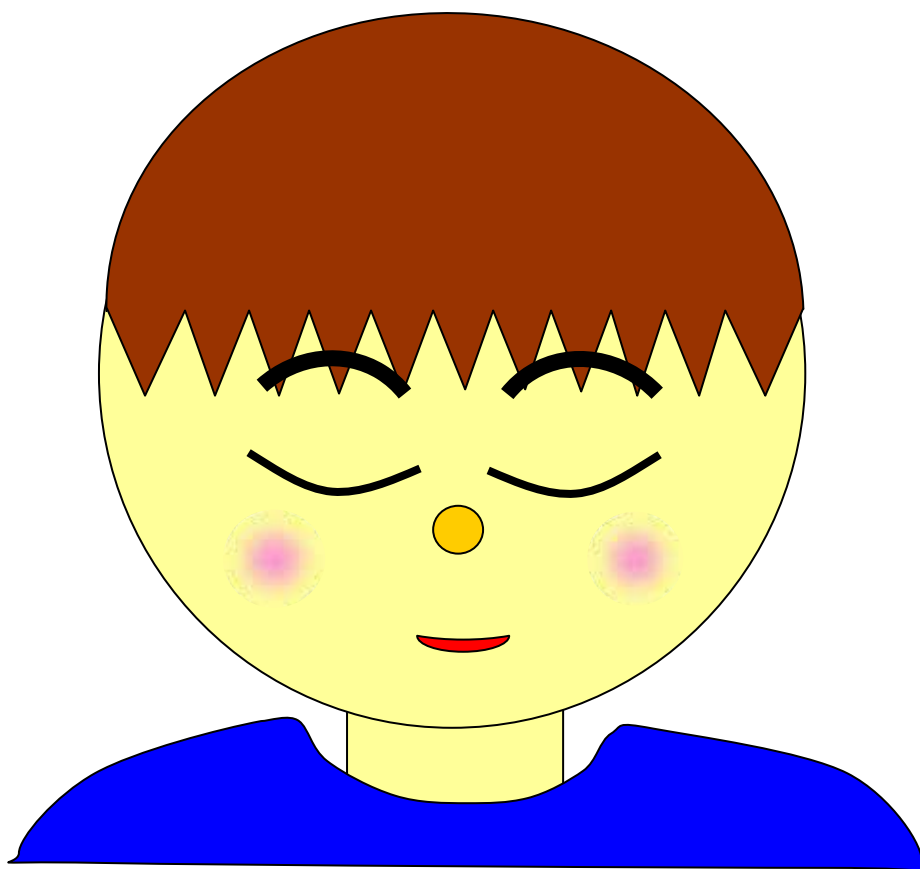
怒り



イヤだ (嫌悪)



安心



恥ずかしい (褒められて照れる)



恥ずかしい（着替えを見られる）



恥ずかしい（叱られる）



2. 被害者にならないための教育

ワーク台本

“被害者にならないための教育”

NO（嫌だ）、GO（逃げる）、TELL（相談する）

目的：NO（嫌だ）、GO（逃げる）、TELL（相談する）の3つの手段の使用方法を、ロールプレイングを通じて実践的に学ぶことにより、現在及び将来の暴力被害から自分を守る方法を身につける。

方法：以下の台本に沿って、SSTを実施する。

台本

【イントロ】※

F：皆は、悪いタッチをされたり、悪い言葉を言われたら、どうしますか？これから、悪いタッチをされたり、悪い言葉を言われた時にどうしたらいいかを勉強するための劇をしますよ。では、早速始まるからよく見ていてよ。

【ロール1】

A君が塗り絵をしているところにBがやってくる。

B：あっ、塗り絵してる。俺にもかせよ（と言いつつ、Aを押して塗り絵を取る）

A：えっ（と悲しそうな、イヤそうな顔でB君を見る）

B：いいじゃん。バカ（と言いつつ、別の場所で塗りを塗り始める）

F：はいここまで（と言いつつ、拍手をして出てくる）

【ディスカッション1】

F：さあ、B君は、A君を押して塗り絵を取っちゃったけど、あのタッチってどう？

C：悪いタッチ！

F：そう、あれは、悪いタッチだよ。ところで、B君は「かせよ」とか「バカ」って言っていたけど、あの言葉ってどう？いい言葉？

C：悪い言葉！

F：そうだね。悪い言葉だよ。ところで、B君の悪いタッチや悪い言葉に対して、A君はできることがなかったかな？

C：「ヤダ（やめて）」って言う。先生に言う。逃げる。

NO、GO、TELLの3つが全てでなかったら

F：他には？

C：○○○

※ A→A君、B→B君、F→ファシリテーター、C→子ども達みんな、T→先生

幼児・小学校低学年向け

F：そうだね。A君は、ヤダ（やめて）って言うこともできるね。それでB君が止めなかったら、塗り絵をもって場所を移ることもできるし、先生に言うこともできるね。さあ、それでは、もう一度さっきの劇をしますよ。今度はA君、B君の悪いタッチや悪い言葉にどうするかな？

【ロール2】

A君が塗り絵をしているところにBがやってくる。

B：あっ、塗り絵してる。俺にもかせよ（と言いつつ、Aを押して塗り絵を取ろうとする）

A：ヤダ。これは僕が使っているんだ。

B：えーっ、かせよ！

A：ヤダ。今は僕の番だもん（と言いつつ、離れた席に言って塗り絵をする）

B：ちえっ（と言いつつあきらめて、後ろに下がる）

F：はいここまで（と言いつつ、拍手をして出てくる）

【ディスカッション2】

F：さあ、今度はA君どうだった？

C：ヤダって言えた。逃げれた。

F：そうだね。今度はA君、B君の悪いタッチと悪い言葉に、「ヤダ」って言えたし、その場から離れて逃げることも出来たね。じゃあ、今度は、皆にも劇に参加してもらおうよ。A君役の〇〇先生と一緒にあって、ヤダっていったり、逃げたりしてくれる人？

C：はい、はい（と挙手）

F：じゃあ、〇〇ちゃん、代表で出てきて。劇では、A君役の〇〇先生と同じ事をすればいいからね！

*ロール3の前にA君役の先生と前にでる子どもで、簡単な練習をしてからロール3にうつる。

【ロール3】

A君と子ども3人が塗り絵をしているところにBがやってくる。

B：あっ、塗り絵してる。俺にもかせよ（と言いつつ、Aを押して塗り絵を取ろうとする）

A+α：ヤダ。これは僕達が使っているんだ。

B：えーっ、かせよ！

A+α：ヤダ。今は僕達の番だもん（と言いつつ、離れた席に言って塗り絵をする）

B：ちえっ（と言いつつあきらめる）

F：はい上手に出来ました（と言いつつ拍手して出てくる）

【ディスカッション3】

F: みんな上手にできましたね。誰かから、悪いタッチをされたり、悪い言葉を言われたら、こんな風に「イヤだ」っていたり、その場から逃げたりしましょうね。でも、さっきの劇で、逃げても逃げても B 君が「かせよ、かせよ」って言って押してきたらどうする。

C: 先生に言う。

F: そうだね。そんな時は先生に言おうね。じゃあここで、どんな風に先生に言ったらいいかやってみせるよ

【ロール4】

A: 先生、B 君が「かせよ」って言って、僕の使っている塗り絵を取ろうとするんだ。

T: A 君、よく先生に言ってくれたね。B 君には、先生から言うておくから、この机で塗り絵をされていていいよ。

F: はい上手に出来ました（と言いつつ拍手して出てくる）

【ディスカッション4】

F: さあ、A 君は、上手に先生に言うことができましたね。そうしたら、今度も皆に A 君役の〇〇先生と一緒に劇をやってもらおうよ。A 君と一緒に先生に言ってくれる人！

C: はい、はい。（と挙手）

F: じゃあ、〇〇ちゃん、代表で出てきて。劇では、A 君役の〇〇先生と同じ事をすればいいからね！

*ロール5の前に A 君役の先生と前にでる子どもで、簡単な練習をしてからロール5につる。

【ロール5】

A+α: 先生、B 君が「かせよ」って言って、僕の使っている塗り絵を取ろうとするんだ。

T: A 君、〇〇ちゃん、よく先生に話してくれたね。B 君には、先生から言うておくから、この机で塗り絵をされていていいよ。

F: はい上手に出来ました（と言いつつ拍手して出てくる）

【ディスカッション5】

F: みんな上手にできましたね。誰かから、悪いタッチをされたり、悪い言葉を言われたら、保育園の先生や寮の先生に言うことも大切です。覚えておいてね。

※小学校低学年の児童に実施する際は、場面設定をぬり絵ではなく、ゲームやテレビのチャンネルに変えて行う。

3. 加害者にならないための教育

ワーク台本

“加害者にならないための教育”

腹が立っても喧嘩をしない方法 / 仲直りの方法

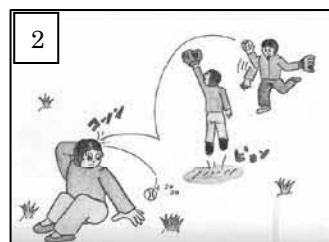
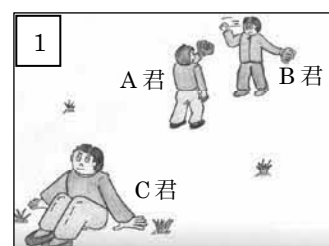
目的：「落ち着く方法」や「問題解決のための思考法（もし、〇〇したらどうなるか？相手はどう思うか？相手を傷つけずに問題を解決するには何ができるか？等）」を視覚教材やロールプレイなどを通じて、分かりやすく、実践的に学ぶことにより、子ども自身が加害者にならない方法を身につける。

方法：以下の台本に沿って、SSTを実施する。

台本

【イントロ】※

F：みんなは、喧嘩になりそうな時はどうしていますか？何かを使う順番でもめたり、ふざけから悪口を言ったりして、腹が立って喧嘩になりそうな場面は、生活の中でたくさんあります。今日は、腹が立っても喧嘩をしない方法と喧嘩をした後に仲直りをする方法について、マンガと劇で考えます。最初にこのマンガを見て下さい。



【マンガ】

※ マンガをホワイトボードに貼りながら1コマ1コマ説明。

- ①：2人の子ども（A君、B君）がキャッチボールをして、1人の子どもが（C君）少し離れた所に座っています。この子がA君、この子がB君、この子がC君です。
- ②：A君がボールを取り損なって、C君の所にボールが転がってきました。
- ③：A君とB君が、C君に「おーい、投げてくれ」と言っています。
- ④：C君は、ボールを投げ返すのですが、ちょっと強く投げすぎてしまって、A君の顔にボールが当たってしまいました。
- ⑤：A君は、カンカンに怒って、C君の側にやってきました

【ディスカッション1】

F：さあ、この後、どうなるかな？

- ※ A→A君、B→B君、C→C君
F→ファシリテーター、Ch→子ども達みんな

小学校低学年向け

Ch：喧嘩になる

F：そうだね。喧嘩になりそうだね。でも、なんでそうなるの？

Ch：C君の投げたボールがA君の顔に当たったから！

F：そうだね。C君の投げたボールがA君の顔に当たったからA君が怒ったからだよね。

F：とこで、怒られたC君はどんな気持ちかな？

Ch：嫌な気持ち、怒る、腹が立つ・・・

F：そうだね。A君だけでなく、C君も腹が立ったら、間違いなく喧嘩になりそうだよね。

ところで、喧嘩にならないためには、A君やC君は何ができるかな？まず、A君について考えるよ。A君は喧嘩にならないために何ができるかな？

Ch：○○○、×××、△△△、・・・

F：A君にとって大切なのは、まず落ち着くこと!! 落ち着かないと怒ってしまって、C君に“悪いタッチ”をしたり、“悪い言葉”を言ったりするよね。落ち着くには、どうしたらいいかな？

Ch：○○○、×××、△△△、・・・

F：落ち着く方法はいくつかあるけれど、目をつぶっての深呼吸がいい方法です。それから、目をつぶって5まで数えるという方法もあります。じゃあ、その2つを練習してみるよ。まずは、目をつぶっての深呼吸を3回してみるよ。見本だよ。こんな風にするよ（と言いつつ、深呼吸の見本を見せる）。じゃあ、今度は皆の番だよ。僕も一緒にやるからね。3回するよ。はい、まずは目をつぶって、せーの（と言って、3回深呼吸をさせる）。次は、目をつぶって数を1から5まで数えるよ。1、2、3、4・・・って感じでね。これも一緒にやってみるよ。はい、まずは目をつぶって、せーの（と言いつつ、1から5まで数を数えさせる）

F：こうすれば、A君も落ち着くね。では、A君は落ち着いた後、どうしたらいいかな？

Ch：○○○、×××、△△△、・・・

F：次にするのは、考えることです。「もし、怒ったままで喧嘩になったらどうなるか!」、「喧嘩にならないためにはどうしたらいいか!」を考えます。では、A君はC君に何て言えばいいのかな？なんて言えば、喧嘩にならないかな？

Ch：○○○、×××、△△△、・・・

F：悪いタッチや悪い言葉を使わないで、自分が思っている事をC君に伝えたらいいです。例えば、「A君、痛いよ。そんな速い球を顔に向かって投げられたら取れないよ。気をつけて」と言ったらどうかな？C君は、どんな気持ちになるかな？ どう思うかな？

Ch：「悪かったな」って思う。「しまった」って思う。・・・

F：そうだよね。「悪かった」って思えば、C君だって喧嘩しようとは思わないよね。

F：いい、こんな風に、相手に言う前に、「それを言ったら相手はどんな気持ちになるかな？ 上手いくかな？」って考えることが大切です。

F：次に喧嘩にならないためにC君に何ができるかを考えてみるよ。

C君は、A君と喧嘩にならないために出来ることあるかな？

Ch：謝る。

F：そうだね。A君の顔にボールをぶつけたことを謝れば、A君だって怒らないよね！

F：でも、C君はわざとA君の顔をねらって投げたのかな？

Ch：ちがう！

F：そう。違うね。C君はわざとA君の顔をねらって投げたわけではないね。うっかり、ボールを顔に当ててしまったんだよね。いい、うっかりの時でも相手が痛い思いをしたり、嫌な思いをした時は謝ることが必要です。覚えておいて!!

【ルール1】

F：それでは、今度は劇をするよ。劇は、このマンガのここから（4コマ目）の続きです。

A君の役を〇〇さんが、C君の役を〇〇さんがするよ。2人とも喧嘩にならないようにするので、よく見ていてよ。では、劇がはじまるよ。C君の投げたボールがA君に当たってしまいました。さあ、A君とC君は、どうするかな？

F：ボールが当たったA君は、こんなことを心の中で考えました。

A：いた～っ！ 腹が立つな。怒鳴ってやろうか？ でも、まずは、深呼吸して落ち着こう（と目をつぶって3回深呼吸）。よし、ちょっと落ち着いたぞ、怒鳴ったらC君も怒り出して喧嘩になるな。「ボール投げてくれ」って言ったのは自分だし……。よし、悪い言葉を使わないで、自分の思っていることを伝えよう!! そうだ、「ボールを投げてくれてありがとう。でも、痛いよ。あんなに速い球は取れないよ。気をつけてよ」って言ってみよう。そうすれば、C君だって怒らないし、上手くいきそうだ。

F：そして、ボールをA君に当ててしまったC君は、心の中でこんなことを考えました。

C：たいへんだ！ わざとじゃないけど、うっかりA君の顔にボールをぶつけちゃった。A君は痛そうだから、謝らないといけないな。

F：さあ、この後、A君とC君は、お互いにどうするかな？ 見てみましょう。

C：（駆け寄って）ごめんよ。わざとじゃないんだ。だいじょうぶ？

A：C君、ボールを投げてくれてありがとう。でも、痛いよ。顔に向かってあんなに速い球を投げられたら取れないよ。気をつけてよ。

C：本当にごめんよ。今度から気をつけるから

【ディスカッション2】

F：はい、ストップ！（と言いつつ拍手）。さあ、今度は、A君とC君は、喧嘩にならなかったね。A君やC君のどこかよかったかな。まずは、A君について訊くよ。A君はどこがよかったかな？

Ch：〇〇〇、×××、△△△、・・・・

小学校低学年向け

F：そうだね。A君は、腹が立ったけど、怒鳴ったりせずに、まずは深呼吸をして落ち着いたね。それから、C君の気持ちも考えて、悪い言葉を使わないで自分の気持ちをC君に言うことができたね。じゃあ、C君はどこがよかったかな？

Ch：○○○、×××、△△△、・・・

F：そうだね。C君は、ボールをA君にぶつけたのは、わざとではなくてうっかりしたことだったけど、A君が痛い思いをしたので、きちんと謝っていたね。

【ロール2】

F：さあ、今度は、みんなにも劇に参加してもらおうよ。・・・

※ ロール1と同様の内容を実施。子どもにもA君とC君の役を大人と一緒にやってもらう

※ ロール2では、A君役、C君役は、心の中のセリフはカット。ボールがぶつかった後、A君役が以下の言動をとるのみ。

▶ A：いてー、怒鳴ってやろうか、でも落ち着かなきゃ、深呼吸をしよう（と言いつつ3回深呼吸）

【ディスカッション3】

F：はい、ストップ！（と言いつつ拍手）。上手にできたね。みんなも、“腹が立った時”や“うっかりでも相手に痛い思いや嫌な思いをさせた時”は、こんな風にして喧嘩にならないようにしてね。

F：でも、いつもいつも、上手いくとは限らないよね。喧嘩になってしまう時もあるよね。そして、喧嘩になったら仲直りをするのが大切だね。じゃあ、喧嘩になった後、仲直りをするには、どうしたらいいかな？

Ch：C：○○○、×××、△△△、・・・

F：そうだね。まずは謝ることだね。その時に、“自分がどんな悪いタッチしたり、どんな悪い言葉を言ったのかを相手に伝えること”と、“ごめんなさい”と“許して”を言うことが大切です。それから、うっかりの場合でも、相手が痛くなったり嫌な気持ちになった時は謝ることが必要です。そして、相手が謝ってきたら「いいよ」と許してあげてね。じゃあ、今から仲直りの劇をするよ。最初のマンガの続きになります。喧嘩になったA君とC君がどんな風に仲直りするかよく見てね！

【ロール3】

※ A君がC君に歩み寄って。

A：C君

C：なに

A：さっきは、「気をつけろ。下手くそ！！」なんて言ってごめんよ。許してくれるかな？

C：いいよ。僕こそボールをぶつけてごめんよ。でも、わざとじゃないんだ。許してくれるかな？

A：いいよ。

※ A君、C君ともに軽く微笑む。

【ルール4】

F：はい、ストップ！（と言いつつ拍手）。お互いがこんな風に謝れば、喧嘩にならないね。
それと、A君は、謝る前に優しい声で「C君」って名前を呼んでいたね。これも大切です。謝る前に優しい声で名前を呼んであげると、相手も「話を聴こうかな」っていう気持ちになるからね。

F：じゃあ、今度はみんなもやってみよう。

※ ルール3の内容を子ども達だけで実施。難しければ、大人も一緒になって実施。

【まとめ】

F：はい、ストップ！（と言いつつ拍手）。上手に出来ました。喧嘩をした時は、こんな風に仲直りをしてね。それと、謝って仲直りしたいけど、どんな風に謝ったらいいか分からない時もあると思います。そんな時は、大人に相談してね。きっと、いい謝り方を教えてくれる筈です。

F：じゃあ、最後に今日勉強したことの復習です。

F：（次の①～④の内容のカードを貼りながら）**腹が立って喧嘩しそうになった時には、**

- ① **まず、目をつぶって深呼吸とかして落ち着きます。**
- ② **それから、もし、相手に悪いタッチをしたり、悪い言葉を言ってしまったらどうなるか考えます。**
- ③ **それから、悪いタッチや悪い言葉を使わずに、相手に自分の気持ちを伝える言葉を考えます。**
- ④ **それから、その言葉を言ったらどうなるか考え、上手いきそうなら、その言葉を言います。**

F：それと、**わざとじゃなくて、うっかりでも、相手に痛い思いや嫌な思いをさせた時は謝ります。**

F：（次の①～②の内容のカードを貼りながら）そして、**喧嘩になってしまった時には仲直りするために**

- ① **自分がどんな悪いタッチしたり、どんな悪い言葉を言ったのかを相手に伝えること**
- ② **“ごめんなさい”と“許して”を言うこと**
が大切です。

F：それでは、これで喧嘩にならないための勉強と仲直りのための勉強を終えます。みんな最後まで勉強してくれてありがとう。是非、ここで勉強したことを生活の中で使ってみてね。

4. 友達と仲良くするための教育

ワーク台本

“友達と仲良くするための教育”

玩具をみんなで使う方法

目的：「口で頼む」、「頼む前に相手の名前を呼ぶ」、「相手が気持ちよくなる声かけをする」、「お礼を言う」といった方法を、ロールプレイを通じて実践的に学ぶことにより、玩具をみんなで気持ちよく使う方法を身につける。

方法：以下の台本に沿って、SSTを実施する。

台本

【イントロ】

F：みんなは、玩具を何人もで使う時はどうしていますか？玩具の取り合いになったり、使う順番のことで喧嘩になったりしていませんか。今日は、みんなが玩具を使いたい時に喧嘩にならない方法について、劇を見ながら考えたいと思います。今日の劇では、A君とB君の二人がでてきます。〇〇さんがA君の役を〇〇さんがB君の役をしますよ。では、劇の始まりです。スタート！！

【ルール1】

※ A君がブロック遊びをしているところにB君がやってきて、少し離れたところからA君をじっと見る。

A：ブロックで車を作ろうっと

B：(小声で) あっ、A君がブロックしている。いいな～

【ディスカッション1】

F：はい、ストップ！（と言いつつ拍手）。さあ、A君がブロックを使って遊んでいると、そこにB君がやってきました。B君は少し離れたところから、A君をじっと見ていました。B君はどんな気持ちだと思いますか？

C：ブロックがしたい、一緒に遊びたい、「いいな」っていう気持ち。・・・

F：そうだね。B君は、きっと「A君はブロックしていていいな。自分もしたいな」とか「A君と一緒にブロックしたいな」っていう気持ちだよ。じゃあ、B君は、どうしたらいいと思う。

C：「よせて」っていう、「ブロック使っていていい？」って訊く、「僕（私）も使わせて」っていう・・・

F：そうだね。いくらブロックを使いたいからと言って、何も言わないでA君の使っているブロックをB君が使ったら、きっとA君が怒って喧嘩になってしまうよね。「よせて」とか「ブロック使っていていい？」とか口で頼むことが大切だね。じゃあ、もう一度、劇を

幼児・小学校低学年向け

やるから見ていてね。今度は B 君、上手く口で頼んで、A 君と一緒にブロックをするよ。
では、劇の始まりです、スタート！

【ロール2】

※ A 君がブロック遊びをしているところに B 君がやって来る。

A：ブロックで車を作ろうっと

B：(小声で) あっ、A 君がブロックしている。いいな～。一緒にやりたいな。A 君に頼んでみよっと。ねえ、A 君！

A：なあに、B 君

B：ブロック楽しそうだね。一緒に使ってもいい？

A：いいよ！一緒にやろう

B：ありがとう A 君 (と言いつつ、一緒に楽しく遊ぶ)

【ディスカッション2】

F：はい、ストップ！！(と言いつつ拍手)。さあ、今度は B 君上手に口で頼むことができたね。B 君は、何て言っていたかな？

C：「一緒に使っていい？」って言っていた。

F：そうだね。B 君は、「一緒に使っていい？」って上手に口で頼むことができたね。それから、頼む前に「ねえ、A 君」って名前を呼んでいたね。ああやって、頼む前に名前を呼ぶと、A 君も「B 君が何か言おうとしているぞ」って分かっていいね。
他には、B 君、何って言っていたか覚えている。

C：「楽しそうだね」・・・、「ありがとう」・・・

F：そうだね。B 君、「一緒に使っていい？」って頼む前に「ブロック楽しそうだね」って言っていたね。「楽しそうだね」って言ってもらえると、A 君も嬉しい気持ち、楽しい気持ちになって、「B 君と一緒に遊びたいな」っていう気持ちになるよね。だから、A 君、「一緒に使っていい？」って頼まれた時に、すぐ、「いいよ！一緒にやろう」って言ってくれたんだね。A 君は親切だったね。その後、B 君は、「ありがとう」ってお礼が言えたね。「ありがとう」のお礼はいい言葉だよ。みんなも、誰かから親切にしてもらったらお礼を言おうね。

では、今の劇をもう一度やるよ、今度は、みんなの中の誰かに A 君や B 君の役をやらせようよ。B 君の役をやる人は、口で頼むこと、頼む前に A 君の名前を呼ぶことと、「楽しそうだね」って言うこと。それから、お礼を言うこと、忘れないでね。

【ロール3】

※ ロール 2 と同様の内容を実施。最初、A 君役が子ども、B 君役が大人の組み合わせで実施した後、A 君役が大人、B 君役が子どもの組み合わせで実施。終わったら次のディスカッションに移る。

【ディスカッション3】

- F：はい、ストップ！！（と言いつつ拍手）。さあ、とっても上手にできました。みんなも、友達が使っている玩具が使いたい時は、こんな風に頼んでみてね。
- ところで、ブロックが少ししかない時は、A君とB君、一緒にブロック使えるかな？
- C：使えない
- F：そうだね。ブロックが少ししかなかったら、一緒に使えないね。二人とも同じブロックが使いたくて喧嘩になってしまうかもしれないね？じゃあ、ブロックが少ししかない時はどうしたらいいかな？
- C：順番に使う
- F：そうだね。そんな時は、順番に使えばいいね。順番に使うには、B君何て言えばいいかな？
- C：後で使わせて
- F：そうだね。そんな時は、「後でブロック使わせて」って言えばいいね。じゃあ、もう一度劇をするけど、今度の劇では、ブロックが少ししかないよ。みんな、B君がどんな風にするかよく見ててよ！

【ロール4】

- ※ A君が少しのブロックで遊んでいるところにB君がやってくる
- A：ブロックで車を作ろうっと
- B：（小声で）あっ、A君がブロックしている。いいな～、僕（私）もやりたいな。でも、ブロックが少ししかないし、一緒には遊べないな。そうだ！後で使わせてもらおう。ねえ、A君！
- A：なあに、B君
- B：ブロック楽しそうだね。後で僕（私）にも使わせて欲しいんだけど
- A：いいよ！
- B：ありがとう A君！じゃあ、僕（私）はあっちで絵本を読んで、待っているね。

【ディスカッション4】

- F：はい、ストップ！！（と言いつつ拍手）。さあ、B君は上手に口で頼むことができたね。B君は、何て言っていたかな？
- C：後で使わせて・・・
- F：そうだね。B君は、A君の遊んでいるブロックが少なかったので、「後で使わせて」って頼んだね。それから「ねえ、A君！」って名前も呼べたし、「楽しそうだね」って言えたし、「ありがとう」ってお礼も言えたね。それと、B君は「じゃあ、僕（私）はあっちで絵本を読んで、待っているね」って言って、待っている間に何をするか決めるこ

幼児・小学校低学年向け

とが出来たね。これは、とても大切です。だって、自分の順番がくるまで何もすることがなかったら、イライラしてイヤな気持ちになるでしょ。

では、今の劇をもう一度やるよ、今度は、みんなの中の誰かに A 君や B 君の役をやってもらうよ。B 君の役をやる人は、「後で使わせて」って頼むこと、頼む前に A 君の名前を呼ぶことと、「楽しそうだね」って言うこと。それから、お礼を言うことと、待っている間何をするのか言うこと忘れないでね。

【ルール5】

※ ルール 4 と同様の内容を実施。最初、A 君役が子ども、B 君役が大人の組み合わせで実施した後、A 君役が大人、B 君役が子どもの組み合わせで実施。

【まとめ】

F：はい、ストップ！！（と言いつつ拍手）。さあ、とっても上手にできました。みんなも、友達と玩具を順番に使う時は、こんな風に頼んでみてね。それから、今日の劇みたいにやっても、なかなか使いたい玩具が使えない時もあります。そんな時は、先生に相談して下さい。いいですか！

今日は、お友達の使っている玩具が使いたい時、どうしたらいいか勉強しました。みんな、今日の勉強を忘れないでね！

※小学校低学年の児童に実施する際は、場面設定をトランプやカードゲーム等に変えて行う。

V. リーフレット

第1回：性（生）教育の内容



1. 導入：絵本の読み聞かせ

絵本「おへそのあな」

“おへそ”のひみつ

“へそのお”をとおして
お母さんから“えいよう”
や“さんぞ”をもらって、
あかちゃんが大きくなる
よ！

おへそがあるのは・・・
お母さんから生まれたし
し☆



おへそは何のためにあるの
かな？

お母さんが食べたご飯やおか
ずが血の中に栄養として送ら
れて、“へそのお”を通して赤
ちゃんに送られてくるんだよ！

命が受け継がれてきた証だ
ね！

2. 感情教育：どんな気持ち？ 「7つの基本感情」



1. うれしい

- ・目や眉がニコツとしてる
- ・口角が上がっている
- ・ホッペがピンク色で顔色がいい



2. いやだ

- ・口がへんの字になっている
- ・鼻や眉間に皺がよっている
- ・手のひらを前に突き出している



3. びっくり

- ・口が大きく開いている
- ・目が大きく開いている
- ・眉が上がっている
- ・肩が上がっている



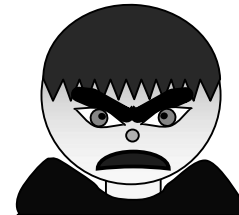
4. かなしい

- ・涙が出ている
- ・眉が下がっている
- ・肩がシュンと落ちている



5. こわい

- ・顔が青い
- ・目が眉が下がっている
- ・口がなみなみになっている
- ・手がわなわなしている



6. おこった

- ・顔が赤い
- ・目や眉毛が上がっている
- ・肩が上がっている
- ・口角が下がっている



7. あんしん

- ・ホッペがピンク
- ・目をつむっている
- ・口がフ～ってしている

「恥ずかしい気持ち」



A. 褒められて照れる時



B. 着替えを見てしまった・見られてしまった



C. いじめて叱られる

※「恥ずかしい」と思わないと同じことを繰り返す！ B,Cの時は、「そんなことすると恥ずかしいよ」と伝えよう！

★感情教育として、日頃の指導に生かしていただきたいこと★

- ・児童が自分自身の感情に気づけているか？職員の感情を読み取ることができているか？観察することが大切です！
- ・「嬉しいね」「安心だね」「怖かったね」「ビックリ！」「恥ずかしい」等、児童の気持ちを口に出して伝えたり、職員自身の気持ちを口に出して伝えるように、心がけてください！
- ・児童がプライベートゾーンを見たり見せたり、生活のルールを破った時は、「そんなことすると恥ずかしいよ」と伝えてください。

3. フライベートゾーンと性行動のルール

～わたしの体はわたしだけの大切なもの～

プライベートゾーン
＝水着で隠れるところ＋ぐち

～ルール～

- ①自分のプライベートゾーンを見せはいけない
- ②自分のプライベートゾーンを触らせてはいけない
- ③他人のプライベートゾーンを見てはいけない
- ④他人のプライベートゾーンを触れてはいけない
- ⑤キスは口にはしない

例外：お医者さんに診てもらう時
みんなでお風呂に入るとき

《おとこの子のからだ》

ここは、おとなになってから、おとうさんになるためのたいせつなところ。

だいにしてね。

あかちゃんをつくるもと（せいし）がはいているよ！

《おんなの子のからだ》

ここは、おとなになってから、おかあさんになるためのたいせつなところ。

だいにしてね。

あかちゃんをそだてるふくろがはいているよ！

プライベートゾーンは、お父さん、お母さんになるため（子どもをつくるため）の大切なところ！！

プライベートゾーンを触られた時は？

嫌だと言う / 逃げる / 大人に相談する

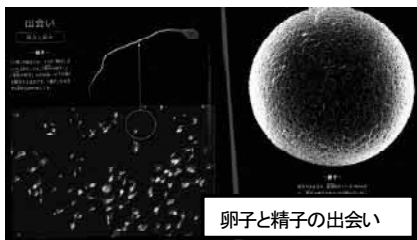
★体を大切にするために、日頃の指導に生かしていただきたいこと★

- ・“わたしの体はわたしだけのもの” “プライベートゾーンは大事” “自分の体を大切に綺麗にしよう” という意識づけを入浴等の場面できるように心がけてください！
- ・児童間や児童から職員に対して、プライベートゾーンを見たり見せたり触ったりする場面があったら、その場で「プライベートゾーンは見たり見せたり触ったりしたらダメだよ」「プライベートゾーンはお父さん、お母さんになるための大事なところだよ」と指導するようにしてください！

第2回：小学校低学年向け性（生）教育の内容



1. 導入：絵本の読み聞かせ「赤ちゃんが生まれる」



みんなは3億分の1以上のすごい確率で生まれてきている。宝じがあたるよりすごい確率！
生きているだけで100点満点



受精後3ヶ月で、目や鼻や耳ができるよ！

さらに、受精後6ヶ月になると、赤ちゃんは、音が「聞こえている」よ！

- ◆「おぎゃー」って生まれた時、みんなが手を広げて生まれてくるのを待っていたよ！
- ◆母親にとって出産は命がけ！命がけで産んでくれたから、みんなの命がある！もらった命を大切にしたい。

2. 母子手帳で出生時の身長・体重を確認

- ・ 子ども達1人1人の母子手帳をみながら、生い立ちを振り返ってみました！
- ・ 母子手帳は、赤ちゃんの大切な成長の記録です！
- ・ みんな、何kg？何cmで産まれたのかな？

～産まれたばかりの赤ちゃんの平均体重は3kg 平均身長は50cm～

あかちゃん模型を抱っこして、着替えやオムツ替えをしてみました！！



赤ちゃんって思ったより重いね！命の重みだね！

お着替えもオムツ替えも大変だね！
こんなふうに育ててもらったんだね☆

3. フライベートゾーンの復習 絵本「いいタッチ わるいタッチ」の朗読

いいタッチ：嬉しい・安心する・心があつたまるタッチ・・・抱っこ、おんぶ、手をつなぐ等



わるいタッチ：痛い・怖い・悔しい・心が変な気持ちになるタッチ・プライベートゾーンをタッチ



わるい言葉のロールプレイ

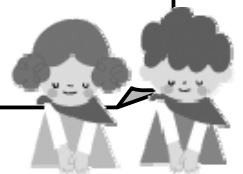
いい言葉の場面	わるい言葉の場面
<p>AさんとBさんが、テレビでポケモンのDVDを観ている。</p> <p>そこへCさんがやってきて…、</p> <p>C : 「Aちゃん、Bちゃん。一緒に私もポケモン観てもいい？」</p> <p>A, B : 「いいよ。」「一緒に観よう。」</p> <p>C : 「ありがとう！うれしいな。」</p> <p>A : 「みんなで一緒に観ると楽しいね。」</p> <p>B : 「うん、楽しい。」</p>	<p>AさんとBさんが、テレビでポケモンのDVDを観ている。</p> <p>そこへCさんがやってきて…、</p> <p>C : 「おい！リモコン貸せや！つまらん！変えるで！」</p> <p>※唐突にリモコンを取ってしまう。</p> <p>A : 「もう！勝手に取らないで！」</p> <p>C : 「なんでだよ！つまらんもん。」</p> <p>A : 「勝手に変えるのは、おかしいよ。」</p> <p>B : 「知らんし。ばーか！しね！」</p>

みんなで「いい言葉」と「わるい言葉」を書きだしてみよう！

《いい言葉》	《わるい言葉》
えらいね	よかったね
よくできたね	ありがとう
たすかったよ	すてきだね
じょうず	がんばったね
かっこいいね	かわいいね
すばらしいね	うれしいね
だいじょうぶ？	やったね
すごいね	ごめんね
	バカ
	うるさい
	知らん
	うざい
	関係ない
	ころす
	最低
	変なの
	ダメだ
	テフ
	かっこわるい
	嫌い
	死ぬ
	おい！
	泣き虫
	チビ

★いい／わるいの感覚を身につけるために指導に生かしていただきたいこと★

- ・児童が相手に不快な感情（痛い・怖い・悲しい等）を与えるような行動をとった時には、その場で「わるいタッチだよ！」と指導してください。
- ・児童が乱暴な言葉や人を傷つける言葉を使った時には、その場で「わるい言葉だよ！」と指導してください。
- ・児童が相手に心地いい感情（嬉しい・ホッとする等）を与えるような行動や言葉を使った時には、その場で「いいタッチ（言葉）だね！」と褒めてあげてください。
- ・児童が心地いいと感じる「いいタッチ」でスキンシップを図り、幼児が“大切にされているなあ～”と感じられる関わりに心がけてください。



5. いいところ発表

みんなの前で、児童1人1人のいいところを担当職員から発表してもらい、みんなで「すごいね～」と拍手☆

★自己肯定感を高めるために、日頃の指導に生かしていただきたいこと★

- ・児童が“自分はかけがえのない存在なんだ”“自分ならできる！”“自分にとって大切な存在なんだ”と感じられるように、日頃から、いいところや頑張ったことを褒めるように心がけてください。



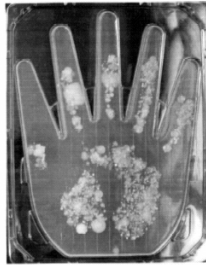
第3回：性（生）教育の内容



1. 手をきれいに洗おう！ ばい菌 手にはどのぐらいついているかな？ 手あらいで どのぐらいきれいになるかな？

手を洗わないと、こんなに
バイ菌がいっぱい！

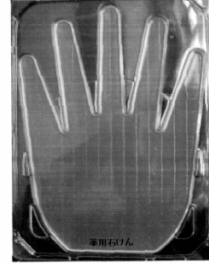
トイレの後、食事の前、外
出後には、手の隅々までキ
レイに洗おう！



手をあらうまえ



せっけんで あらったあと



やくようせっけんで あらったあと

《手洗いの方法》

てあらいのうた
～☆きらきらぼし☆～

ての「ひら」 ての「こう」
ゆびのあいだ もあらおう
ゆびさき つめに～
おやゆび こゆび～
てくびも あらい～
きれいにながそう

1. てのひら
てをあわせて せっけんで
あわせて！
2. てのこう
かめさんのて☆
てのこうをのばすように！
3. ゆびのあいだ
おやまをつくって☆
ゆびのあいだを こしこし！
4. ゆびさき つめ
ゆびさきを
てのひらで ぐるぐる！
5. ゆびをいっぽんいっぽん
ねじってあらおう！
6. てくび
てくびをぐるぐる！

きらきらぼしの替え歌で、正しい手洗いの方法を身につけました！

《てあらい実験》

- ① でんぷんのりを手につける
- ② 手洗いの歌を歌いながら十分に手洗いをする
- ③ ヨード液をつける→洗い残しは紫色
→きちんと洗えていれば茶色（ヨード液の色）

2. お風呂の入り方

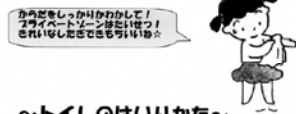
からだをきれいにしよう！
～お風呂のじゃんぼん～
1. おゆでからだをあたためよう！
よごれたところもあらってね！
(て・あし・おまた・おしり)



3. ゆっくり ゆぶねにはいろう！



4. からだをふいて
きれいなしたぎをきよう！



～トイレのはいりかた～



からだをきれいにすると、げんきで
きもちいい☆
まわりの友だちもきもちいいよ！

3. ケガの手当

ごろんで **すりむいた**らどうする?

1 いちばん大切なのは 水洗い
傷口に水はかき入れず、流水で洗い流す。傷口が大きいときは、流水で洗い流す。傷口が小さいときは、流水で洗い流す。傷口が小さいときは、流水で洗い流す。

2 傷口にばんそうこうを貼る。
傷口が大きいときは、ばんそうこうを貼る。傷口が小さいときは、ばんそうこうを貼る。傷口が小さいときは、ばんそうこうを貼る。

3 傷帯をまく。
傷帯をまく。傷帯をまく。傷帯をまく。

+ こんなときは病院へ

- ・いけい・はれがひどい。
- ・傷口がふさかい。
- ・とげれがはきい。
- ・動物にかまれに。
- ・くまじびができた。

やけどをしたら、どうする?

「ふく、のうえから やけどをしたら...」

※ 水はかき入れず、流水で洗い流す。

※ 水はかき入れず、流水で洗い流す。

※ 水はかき入れず、流水で洗い流す。

これはダメ!!

水ぶくれは、そのままにやぶらない。(バネが傷の中にいれる)

+ こんなときは病院へ

- ・したみがつづくとき。
- ・大きな水ぶくれができたとき。
- ・やけどで、火傷がひどいとき。

★体をきれいにする習慣を身につけるために指導に生かしていただきたいこと★

- ・食事の前、トイレの後、外出後には、石鹸をつけてしっかり汚れを落とすように指導してください。
- ・お風呂の際には、「体を洗わずに湯船に入ることがないように!」「床にべったん座らないように!」「顔→首→体→足」というように、床につく汚いところは最後に洗うように指導してください。

《いいタッチ》



- ありがとうと言う
- 頭をなでる
- おんぶ
- あくしゅ
- ひざに座る
- 手をつなぐ

《わるいタッチ》



- しね!と言う
- プライベートゾーンをさわる
- パンチ・キック
- おもちゃをかくす
- ものをなげる
- ひっかく

5. わるいタッチをされた時のロールプレイ (被害者にならないための教育)

ロールプレイ: 漫画を勝手に取ってしまう場面

- ◆ルール1: 《悪い例》 A君が漫画を読んでいると、B君がA君の漫画を勝手に取ってしまう。
→ 《ディスカッション》 B君のタッチや言葉はどうか?
→ わるいタッチ、わるい言葉
A君はどうすれば良かったかな?
→ 「嫌だ」と言う。逃げる。先生に言う。
- ◆ルール2: 《対応例》 A君が漫画を読んでいると、B君が漫画を勝手に取るので、A君は「嫌だ!」と言い、B君は諦める。
- ◆ルール3: 《児童も一緒に実践》 児童の代表が前に出て実践。「嫌だ!」と言う練習。
- ◆ルール4: 《先生に言いに行く例》 A君が先生に、B君が漫画を勝手に取ったことを伝える。先生は、「よく言ってくれたね。」と伝える。
- ◆ルール5: 《児童も一緒に実践》 児童の代表が前に出て実践。先生に伝える練習。

★わるいタッチをされた時の対処方法を身につけるために★

- ・児童がわるいタッチをされた時に、「嫌と言う」「逃げる」「大人に言う」が身に付くように指導してください!

第4回：性（生）教育の内容



1. 導入：絵本「わたしが好き」

私には好きなことがいっぱいある！好きな人がいっぱいいる！
大切にされて自分が大切だって気づく！
嫌なことがあっても大丈夫！私は私が好き！

2. 生活のルール：友達と仲良くするための教育

ロールプレイ：玩具をみんなで使う方法

- ◆ロール1：AさんとBさんがトランプで遊んでいるところに、Cさんがやってきて、「いいな～」とジッと見つめる。
- ◆ディスカッション1：Cさんはどんな気持ちだと思いますか？→「いいな」「自分もしたいな」
自分もしたい時はどうする？
→「仲間に入れて」と口で頼む
- ◆ロール2：CさんがAさんBさんに「ねえAさん、Bさん」「トランプ楽しそうだね」「仲間に入れて」と口で頼む。
AさんBさんが「いいよ」というとCさんは「ありがとう」と言う。
- ◆ディスカッション2：Cさんは何て言っていたかな？
→頼む前に名前を呼ぶ
「楽しそうだね」と「いい言葉」を伝える
「ありがとう」とお礼を伝える
- ◆ロール3：ロール2と同じ内容を実施。児童も参加して実施。
- ◆ディスカッション3：もし、2人でしか遊べないゲーム（例えば、2人対戦のカードゲーム）をしたい時は、どうしたらいい？
→順番につかう
「後で使わせて」と言う
- ◆ロール4：AさんとBさんが2人対戦のカードゲームで遊んでいるところにCさんが来て、「ねえAさん、Bさん」「楽しそうだね」「後で替わって」と言うと、AさんBさんは「いいよ」と言ってくれたので、Cさんは「ありがとう、じゃあ、あっちでテレビを観て待っているね」と言う。
- ◆ディスカッション4：Cさんは何と言っていたかな？
→「ねえAさん、Bさん」と名前を呼ぶ
「楽しそうだね」と伝える
「後で替わって」と口で頼む
「ありがとう」とお礼を伝える
待っている間に何をするのか言う
- ◆ロール5：ロール4と同じ内容を実施。児童も参加して実施
- ◆まとめ：実際に、こんな風に頼んでも仲良く遊べない時は、先生さんに相談してください。

「いいよ！」
「いっしょにやろう」



1. 「ねえ、〇〇くん（さん）」
なまえをよぶ

2. 「たのしそうだね」

3. 「いっしょにつかっていい？」「なかまにいれて」「あとでつかわせて」

4. 「ありがとう」

5. まっているあいだになにをするかいう

★みんなで仲良く遊ぶために★

・児童が玩具を「かして」と口で頼むこともなく、勝手に使うことがないように、他の児童が使っている玩具を順番を守らず勝手に取り上げることをないように、以下の順番を守るよう指導してください。

- ①「ねえ、〇〇くん(さん)」と名前を呼ぶ → 相手に聞いてもらう準備をもらう
- ②「楽しそうだね」と言う → 嬉しい気持ちになる、一緒に遊びたいなって思う
- ③「一緒に使っていい?」「後でかして」と口で頼む → 何も言わないと喧嘩になる
- ④「ありがとう」とお礼を言う → いい言葉 また一緒に遊びたくなる
- ⑤後で借りる時は待っている間に何をするのかを言う → 何もしないとイライラする

3. 問題解決スキル (加害者にならないための教育: 喧嘩をしない、仲直り)

【シナリオ】



- 1 A君とB君がキャッチボールをしており、C君が少し離れたところに座っています。
- 2 B君がボールを取り損ない、C君の所にボールが転がってきました。
- 3 A君とB君が、C君に「おーい、ボールを投げてくれ」と言っています。
- 4 C君はボールを投げ返したが、少し強く投げすぎてしまい、A君の顔にボールが当たってしまいました。
- 5 A君は怒って、ボールを投げたC君のところへやってきて「気をつける、下手くそ」と言いました。



【ディスカッション1】

「A君とC君が喧嘩にならないためには何ができるかな？」

★A君は落ち着くことが大事!

- ①目をつぶって3回深呼吸 (目をつぶって5つ数える)
- ②相手に悪いタッチや悪い言葉を言ったらどうなるか考える
- ③悪いタッチや悪い言葉を使わずに、相手に自分の気持ちを使える



★C君は謝ることが大事!

うっかりの時でも、相手が痛い思いや嫌な思いをしたら謝る



【ロール1：喧嘩にならない方法】

A君：目をつぶって3回深呼吸

「ボールを投げてくれて、ありがとう。でも、痛いよ。あんなに速い球を投げられたら取れないよ。気をつけてよ。」

C君：「ごめんよ。わざとじゃないんだ。大丈夫? 今度から気をつけるよ」

→【ロール2】児童が実践



【ロール3：仲直りの方法】

A君：「さっきは、「気をつける、下手くそ」って言ってごめんよ。」

C君：「いいよ。僕こそボールをぶつけてごめんよ。でも、わざとじゃないんだ。」

→【ロール4】児童が実践

★暴言・暴力を使わずに解決する方法・仲直りの方法★

・児童が暴言・暴力を使わずにトラブルを解決できるように、また、喧嘩をしても児童同士で仲直りができるように、以下のように指導をしてください。

- ①【落ち着く】腹が立った時は、目をつぶって深呼吸
- ②【問題解決法】悪いタッチや悪い言葉を使わずに、相手に自分の気持ちを使える言葉を考える
- ③【うっかりでも謝る】うっかりでも、相手に痛い思いや嫌な思いをさせた時は謝る
- ④【自分が悪かったことを伝える】喧嘩になってしまったら、自分がどんな悪いタッチや悪い言葉を言ったか伝え、「ごめんなさい」「許して」と言う

《いいところ発表》4回のプログラムを通しての1人1人の成長を発表!

VI. 評価

1. 児童への「個別指導チェックリスト」

- 毎回の性（生）教育実施後に、「個別指導チェックリスト」を用いて児童の理解度をチェック

2. 施設職員が記入するチェック表

- プログラム実施前とプログラム終了 1 週間後/1 ヶ月後/3 ヶ月後に「子どもの行動評価」をチェック（各児童に対し、職員が記入）
- プログラム実施前とプログラム終了 1 週間後/1 ヶ月後/3 ヶ月後に「児童の状況に関するアンケート」実施（各児童に対し、職員が記入）
- プログラム実施前とプログラム終了 1 週間後/1 ヶ月後/3 ヶ月後に「職員の養育指導に関するアンケート」を実施（全職員）
- プログラム実施前後に「児童養護施設職員ストレス尺度」に記入（全職員）

注）施設職員が記入するチェック表の使用方法については、「VII. プログラム実施の結果」を参照

1. 児童への「個別指導チェックリスト」

～第1回：個別指導チェックリスト～



1. 感情の理解（表情パネルを見せながら）

表情パネルで気持ちが理解できているか？	○/×
安心な気持ち	
怒った気持ち	
怖い気持ち	
嫌な気持ち	
ビックリした気持ち	
悲しい気持ち	
嬉しい気持ち	
恥ずかしい気持ち	

2. フライベートゾーンの理解（人体図を見せながら）

①身体部位の確認

身体部位の名称が言えるかどうか？	○/×
くち	
むね	
おしり	
ペニス } ※幼児の場合は「おまた」	
ワジナ } に変更	

②プライベートゾーンの名称と色塗り

プライベートゾーンと言えるか？ プライベートゾーンの場所は合っているか？	○/×
水着で隠れるところと口を何と言うか？と聞き、プライベートゾーンと答えられるか？	
プライベートゾーンを水着で隠れるところと口に塗れているか？	

③性行動のルールの確認

性行動のルールが理解できているか？	○/×
自分のプライベートゾーンを見せてもいい？	
他人のプライベートゾーンを見てもいい？	
みんながいる前で、自分のプライベートゾーンを触ってもいい？	
他人に自分のプライベートゾーンを触らせてもいい？	
他人のプライベートゾーンを触ってもいい？	
キスを口にしてもいい？	
お医者さんに体を診てもらう時、プライベートゾーンを見せてもいい？	
大人（先生）が子どものお世話をする時に、プライベートゾーンを触ってもいい？	

④プライベートゾーンを見られたり触られた時の対処

プライベートゾーンを見られたり触られたらどうする？	○/×
「嫌だ」と言う	
逃げる	
大人に言う	

～ 第2回：個別指導チェックリスト～

名前：_____



1. 感情の理解（表情パネルを見せながら）

表情パネルで気持ちが理解できているか？	○/×
安心な気持ち	
怒った気持ち	
怖い気持ち	
嫌な気持ち	
ビックリした気持ち	
悲しい気持ち	
嬉しい気持ち	
恥ずかしい気持ち	

2. フライベートゾーンの理解（人体図を見せながら）

① 身体部位の確認

身体部位の名称が言えるかどうか？	○/×
くち	
むね	
おしり	
ペニス } ※幼児の場合は「おまた」	
ワジナ } に変更	

② フライベートゾーンの名称と色塗り

フライベートゾーンと言えるか？ フライベートゾーンの場所は合っているか？	○/×
水着で隠れるところと口を何と言うか？と聞き、プライベートゾーンと答えられるか？	
プライベートゾーンを水着で隠れるところと口に塗れているか？	

③ 性行動のルールの確認

性行動のルールが理解できているか？	○/×
自分のプライベートゾーンを見せてもいい？	
他人のプライベートゾーンを見てもいい？	
みんながいる前で、自分のプライベートゾーンを触ってもいい？	
他人に自分のプライベートゾーンを触らせてもいい？	
他人のプライベートゾーンを触ってもいい？	
キスを口にしてもいい？	
お医者さんに体を診てもらう時に、プライベートゾーンを見せてもいい？	
大人が子どものお世話をする時に、プライベートゾーンを触ってもいい？	

④ フライベートゾーンを見られたり触られた時の対処

フライベートゾーンを見られたり触られたらどうする？	○/×
「嫌だ」と言う	
逃げる	
大人に言う	

3. いいタッチ/わるいタッチ いい言葉/わるい言葉の確認

いいタッチ/わるいを理解しているか？	○/×
キックやパンチは？ → わるいタッチ	
だっこやおんぶは？ → いいタッチ	
プライベートゾーンを触るのは？ → わるいタッチ	
「ありがとう」「楽しいね」は？ → いい言葉	
「ばか」「うざい」は？ → わるい言葉	

～ 第3回：個別指導チェックリスト～



1. 感情の理解

名前：_____

表情パネルで気持ちが理解できているか？	○/×
安心な気持ち	
怒った気持ち	
怖い気持ち	
嫌な気持ち	
ビックリした気持ち	
悲しい気持ち	
嬉しい気持ち	
恥ずかしい気持ち	

2. フライベートゾーンの理解（人体図を見せながら）

①身体部位の名称が言えるかどうか？	○/×
くち	
むね	
おしり	
ペニス } ※幼児の場合は、「おまた」	
ワгина } に変更	
②プライベートゾーンと言えるか？場所が分かっているか？	○/×
水着で隠れるところと口を何と言うか？と聞き、プライベートゾーンと回答	
プライベートゾーンを水着で隠れるところと口に塗れているか？	
③性行動のルールが理解できているか？	○/×
自分のプライベートゾーンを見せてもいい？	
他人のプライベートゾーンを見てもいい？	
みんながいる前で、自分のプライベートゾーンを触ってもいい？	
他人に自分のプライベートゾーンを触らせてもいい？	
他人のプライベートゾーンを触ってもいい？	
キスを口にしてもいい？	
お医者さんに体を診てもらう時に、プライベートゾーンを見せてもいい？	
大人が子どものお世話をする時に、プライベートゾーンを触ってもいい？	
④プライベートゾーンを見られたり触られたらどうする？	○/×
「嫌だ」と言う	
逃げる	
大人に言う	

3. いいタッチ/わるいタッチ いい言葉/わるい言葉の確認

いいタッチ/わるいを理解しているか？	○/×
キックやパンチは？ → わるいタッチ	
だっこやおんぶは？ → いいタッチ	
プライベートゾーンを触るのは？ → わるいタッチ	
「ありがとう」「楽しいね」は？ → いい言葉	
「ばか」「うざい」は？ → わるい言葉	

4. 手洗い・お風呂の入り方・ケガの手当

手洗いのタイミング/お風呂の入り方/ケガの手当が分かるか？	○/×
どんな時に手をあらう？ → トイレの後・外出の後・食事の前	
お風呂に入ってからすぐに湯船に入ってもいい？	
お風呂の床にペタン座りをしてもいい？	
* 転んで擦り傷ができた時どうする？ → 水で洗う	
* 火傷をしたらどうする？ → 水で冷やす	

*は、小学校低学年のみ

～ 第4回：個別指導チェックリスト～



1. 感情の理解

名前：_____

表情パネルで気持ちが理解できているか？	○/×
安心な気持ち	
怒った気持ち	
怖い気持ち	
嫌な気持ち	
ビックリした気持ち	
悲しい気持ち	
嬉しい気持ち	
恥ずかしい気持ち	

2. フライベートゾーンの理解（人体図を見せながら）

①身体部位の名称が言えるかどうか？	○/×
くち	
むね	
おしり	
ペニス } ※幼児の場合は「おまた」	
ワジナ } に変更	
②プライベートゾーンと言えるか？場所が分かっているか？	○/×
水着で隠れるところと口を何と言うか？と聞き、プライベートゾーンと回答	
プライベートゾーンを水着で隠れるところと口に塗れているか？	
③性行動のルールが理解できているか？	○/×
自分のプライベートゾーンを見せてもいい？	
他人のプライベートゾーンを見てもいい？	
みんながいる前で、自分のプライベートゾーンを触ってもいい？	
他人に自分のプライベートゾーンを触らせてもいい？	
他人のプライベートゾーンを触ってもいい？	
キスを口にしてもいい？	
お医者さんに体を診てもらう時に、プライベートゾーンを見せてもいい？	
大人が子どものお世話をする時に、プライベートゾーンを触ってもいい？	
④プライベートゾーンを見られたり触られたらどうする？	○/×
「嫌だ」と言う	
逃げる	
大人に言う	

3. いいタッチ/わるいタッチ いい言葉/わるい言葉の確認

いいタッチ/わるいを理解しているか？	○/×
キックやパンチは？ → わるいタッチ	
だっこやおんぶは？ → いいタッチ	
プライベートゾーンを触るのは？ → わるいタッチ	
「ありがとう」「楽しいね」は？ → いい言葉	
「ばか」「うざい」は？ → わるい言葉	

4. 手洗い・お風呂の入り方・ケガの手当

手洗いのタイミング/お風呂の入り方/ケガの手当が分かるか？	○/×
どんな時に手をあらう？ → トイレの後・外出の後・食事の前	
お風呂に入ってからすぐに湯船に入ってもいい？	
お風呂の床にペタン座りをしてもいい？	
* 転んで擦り傷ができた時どうする？ → 水で洗う	
* 火傷をしたらどうする？ → 水で冷やす	

5. 生活のルール

本を「かして」と言えるか？	○/×
友達が本を読んでいる時に、本を貸してもらいたい時は、どうする？ →「かして」と言葉で伝える	

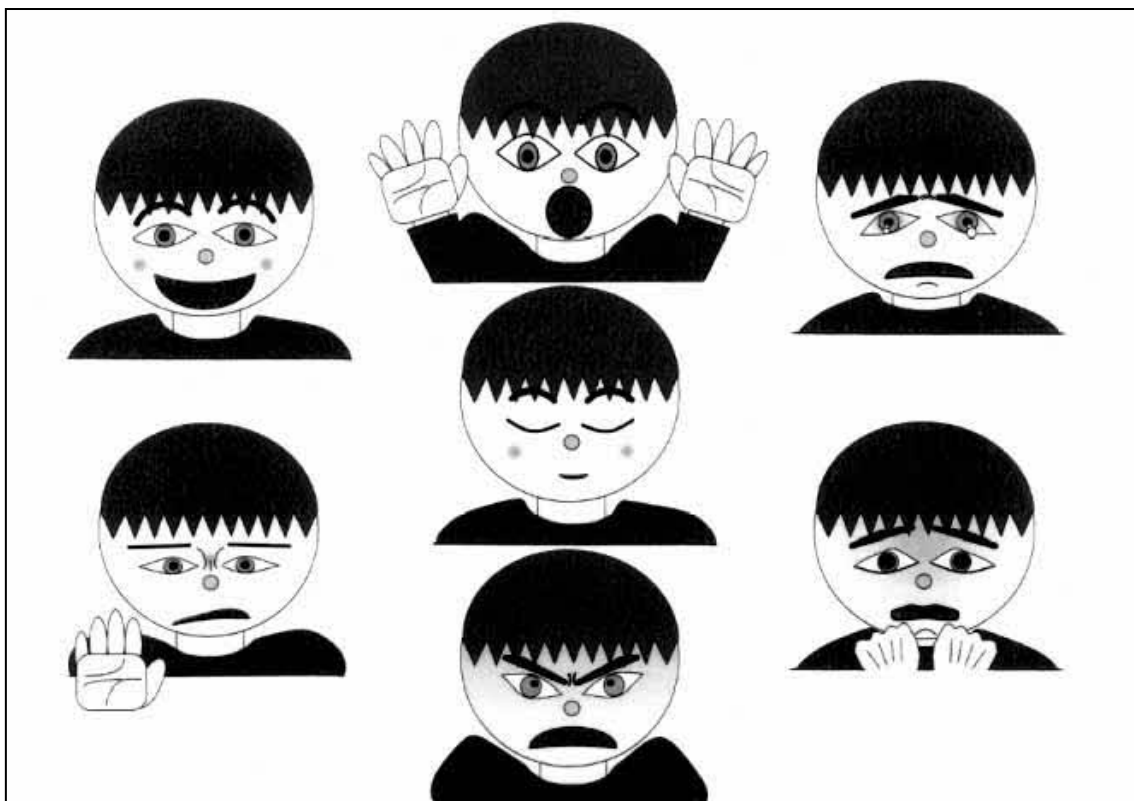
6. 喧嘩をしない方法・仲直りの方法

	○/×
* 腹が立って喧嘩をしそうになった時はどうする？ →①目をつぶって深呼吸（落ち着く） ②悪いタッチや悪い言葉を使わずに自分の気持ちを伝える言葉を考える	
* うっかりでも、相手に痛い思いや嫌な思いをさせた時はどうする？ →謝る	
* 喧嘩になってしまった時、仲直りするためにはどうする？ →どんな悪いタッチ・悪い言葉を言ったか伝え、謝る	

*は、小学校低学年のみ

【個別指導チェックで使用する媒体】

1. 感情の理解で使用するパネル



※それぞれ、どんな気持ちか確認



※着替えをしているのを見られたらどんな気持ちか確認

2. プライベートゾーンの理解で使用する媒体

※指さしで身体部位の名称を確認

※水着で隠れるところと口を何と言うか確認

※プライベートゾーンに色塗り

名前 ()



2. 施設職員が記入するチェック表

- ◆児童評価用：「子どもの行動評価」
「児童の状況に関するアンケート」
- ◆職員評価用：「職員の養育指導に関するアンケート」
「児童養護施設職員ストレス尺度」

子どもの行動傾向評価

児童名(_____)

☆該当幼児の施設や保育所での行動について、以下の基準をもとに当てはまる番号
をご記入ください。

- 質問項目の行動が、非常によく見られる場合は、" 5"
 質問項目の行動が、やや多く見られる場合は" 4"
 質問項目の行動が、多くも少なくもない場合は" 3"
 質問項目の行動が、まれに見られる場合は" 2"
 質問項目の行動が、まったく見られない場合は" 1"

no	質問	回答
1	仲間とのトラブルが生じた時に、泣いたり、攻撃したり、逆上したりする	
2	イライラ、不機嫌である	
3	大きな声を出して仲間を従わせようとする	
4	教室や保育室の遊具や備品をきちんと片付ける	
5	ゲームでの負けを認める	
6	すすんで仲間の手伝いをする	
7	席についていても、そわそわ落ち着きがない	
8	先生が話している最中に、離席する	
9	先生が話している時に、先生のほうを向いて聞く	
10	ゲームや集団での活動に率先して参加する	
11	じっくり考えないで衝動的に行動する	
12	自分から仲間に話しかける	
13	すすんで、集団の遊びや活動に加わる	
14	適切な場面で、自分のよいところや得意な点を述べる。	
15	年下の子どもに話しかけたり、世話をしたりする	
16	仲間が何かを成し遂げた時には一緒によろこぶ	
17	仲間とのトラブルが生じた時に、自分の気持ちをコントロールする	
18	批判されたり問題点を指摘されても受け入れることができる	
19	仲間と遊具や教具を分かち合って使う	
20	仲間に励ましの言葉をかける	
21	仲間の提案を受け入れる	
22	仲間のよい点を誉める	
23	ひとりで過ごしている	
24	仲間を叩いたりけったりする	
25	話し合いの時にはっきりとした声で発言する	
26	必要な時に、はっきりした声で発言する	
27	ひとりきりで遊んでいる	
28	仲間の遊びや活動を邪魔する	

(出典) 立元 真 戸ヶ崎 素子: 幼保小連携のための子どもの行動傾向測定尺度の作成.
宮崎大学教育文化学部紀要2007; 教育科学17:137-118

児童の状況に関するアンケート

児童名 _____

☆該当児童の状況として当てはまるもの1つに○を記入してください

NO	質問	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	プライベートゾーンは大切だという考え方が浸透している				
2	職員のプライベートゾーンを執拗に触ってくる ※				
3	自分自身の感情（嬉しい、楽しい、嫌だ、悲しい、怖い）に気づけている				
4	職員の不快感情（嫌だ、悲しい、怖い、不安）を読み取ることができている				
5	職員の快感情（嬉しい、楽しい、安心）を読み取ることができている				
6	児童同士で不快感情（嫌だ、悲しい、怖い、不安）を読み取ることができている				
7	児童同士で快感情（嬉しい、楽しい、安心）を読み取ることができている				
8	施設における生活の決まり（挨拶、整理整頓、順番を守る、危険なことをしない等）に従えている				
9	友だちと仲良くするために「貸して」「入れて」「ごめん」等の言葉が日常的に使える				
10	職員に対して、自分の気持ちや要求を言葉で伝えることが日常的にできる				
11	友だちとトラブルになりそうになった時に、暴力（暴言を含む）以外の解決方法を日常的に使える				
12	トイレの後、食事の前、外出後に手洗い・うがい等ができている				
13	手洗いの際に、石鹸をつけて汚れをきれいに落とすことができている				
14	お風呂の際に、石鹸をつけて体全体をきれいに洗うことができている				
15	誰かれ構わず、ベタベタと触れる・すぐ傍に寄ってくる・しきりに声をかけたがる等の行動がある				
16	自分自身を好きと感じることができる				
17	何かに取り組む際に、自分ならできるという自信が身に付いている				
頻度に関する質問		よくある	ときどきある	あまりない	ない
18	公のスペースでプライベートゾーンの露出がある				
19	他児のプライベートゾーンを覗くことがある				
20	他児のプライベートゾーンに触れることがある				
21	人前で自分の性器に触れることがある（服の上からの接触も含む）				
22	乱暴な言葉が聞かれる				
23	怒りの感情がコントロールできず、蹴る叩く等の暴力で対処することがある				

※NO. 2で「当てはまる」「やや当てはまる」に回答された方は、具体的にどこの場所をどのぐらいの頻度で触られるかを記入ください。

〔 _____ 〕

※No11 は、小学校低学年の児童を対象とする時のみ実施

職員の養育指導に関するアンケート

職員名 _____

☆あてはまる年代に○を記入してください

1. 20歳以上25歳未満 2. 25歳以上30歳未満 3. 30歳以上35歳未満 4. 35歳以上40歳未満
5. 40歳以上45歳未満 6. 45歳以上50歳未満 7. 50歳以上

☆児童養護施設（前職場も含む）での経験年数をご記入ください（ ）年

☆児童への指導状況として当てはまるもの1つに○を記入してください

NO	質問	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	児童にプライベートゾーンを大切にするように指導できている				
2	性問題行動（自他のプライベートゾーンのタッチ、露出）があった際に、自信を持って指導することができる				
3	児童が職員のプライベートゾーン（口を含む）を執拗に触ってくる際に、困らずに対応することができる				
4	児童が人前で自分の性器に触れているときに、困らずに対応することができる				
5	児童が自分自身の感情に気づけているか観察することができる				
6	児童が職員の感情を読み取ることができるか観察することができる				
7	児童同士で感情を読み取ることができるか観察することができる				
8	児童との関わりの中で、「嬉しいね」「怖かったね」等、児童の気持ちを口に出して伝えている				
9	児童との関わりの中で、「嬉しいね」「怖かったね」等、職員自身の気持ちを口に出して伝えている				
10	児童が保育所や施設における生活の決まり（挨拶、整理整頓、順番を守る、危険なことをしない等）に従うよう指導できている				
11	児童に乱暴な言葉が聞かれたら、悪い言葉であることを、その場で注意することができる				
12	児童が怒りのコントロールができず暴力で対処した場合、悪い行為であることを、その場で注意できている				
13	友だちと仲良くするために「貸して」「入れて」「ごめん」等の言葉が使えるように指導している				
14	児童が職員に対して、自分の気持ちや要求を言葉で伝えることができるように指導している				
15	児童間でのトラブルに対して、暴力（暴言を含む）以外の解決方法を使えるように指導することができる				
16	トイレの後、食事の前、外出後に手洗い・うがい等をするように指導している				
17	手洗いの際に、石鹸をつけて汚れをきれいにおとすように指導している				
18	お風呂の際に、石鹸をつけて体全体をきれいに洗うように指導している				
19	誰かれ構わずベタベタと触れる、すぐに傍に寄ってくる、人との接触を避ける等の行動を、愛着上の問題として捉えられている				
20	児童の自己肯定感が高まるよう、いいところを褒めるようにしている				

※No15は、小学校低学年の児童を対象とする時のみ実施

児童養護施設職員ストレス尺度

【記入方法】

* 体験頻度に関する質問については、過去数ヶ月間において、「体験しなかった」を0、「たまにあった」を1、「ときどきあった」を2、「よくあった」を3に○してください。

* 負担感の程度に関する質問については、過去数ヶ月間において、「感じなかった」を0、「少し感じた」を1、「かなり感じた」を2、「とても感じた」を3に○してください。

性別： 男 ・ 女 勤続年数（ ）年 業務： 管理職 ・ ケアワーカー ・ 心理 ・ 調理

年代： 1. 20～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳 5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50歳以上

項目	体験頻度				負担感			
	0	1	2	3	0	1	2	3
1)保護者へのサポートが足りないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
2)テレビ・マスコミが現場の実状を正しく伝えていないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
3)保護者側の条件の改善がむずかしいと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
4)施設側の経営方針がはっきりしないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
5)現在の制度・法律が十分でないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
6)保護者の心の支えになれないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
7)子どもやその保護者に対し適切なサービスがないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
8)ボランティアや実習生の、対応や指導に時間が取られたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
9)施設側が、現場の意見を無視した要求をしたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
10)理解のない保護者に対応したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
11)感情のコントロールがうまくできない子どもを指導したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
12)職員ごとに態度を変える子どもを指導したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
13)施設の内外で問題行動を起こす子どもを指導したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
14)暴力的で威圧的な態度をとる子どもを指導したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
15)子どもに傷つくような言葉をかけられたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
16)子どもに嘘をつかれたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
17)担当していた子どもを施設から送り出したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
18)周りに対して関わりをもちたがらない子どもを指導したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
19)子どもが、自分の理解できない言動をしたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
20)子どもに反抗されたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
21)よいと思っていたことが、子どもに分かってもらえなかったこと	0	1	2	3	0	1	2	3
22)子どもに一般家庭の生活と比べられたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
23)自分の指導能力が足りないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
24)子どもの心の支えになってやれないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
25)子どもの生活習慣を修正することのむずかしさを感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
26)自分で納得のゆくケアができていないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
27)子ども一人一人の要求にこたえられなかったこと	0	1	2	3	0	1	2	3
28)生活指導、日課や規則を守るためにエネルギーを使ったこと	0	1	2	3	0	1	2	3
29)子どもをいろいろな面でがまんさせたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
30)職員間で、指導についての共通理解がもてていないと感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
31)処遇の考え方や方法について、他の職員と意見がくい違ったこと	0	1	2	3	0	1	2	3
32)他の職員に自分の業務内容や結果について批判されたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
33)他の職員と意思を通じ合わせることができなかったこと	0	1	2	3	0	1	2	3
34)自分の能力以上の仕事を求められたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
35)他機関の援助の内容に疑問を感じたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
36)他機関から、業務内容や結果を批判されたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
37)他機関と、子どもの処遇方針で対立したこと	0	1	2	3	0	1	2	3
38)他機関の持つ情報と、集めた情報がくい違ったこと	0	1	2	3	0	1	2	3
39)記録や報告書を書くのに追われたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
40)時間内に業務が終わらなかったこと	0	1	2	3	0	1	2	3
41)会議や事例検討会に時間を取られたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
42)雑用を頼まれたこと	0	1	2	3	0	1	2	3
43)緊急に呼び出されたこと	0	1	2	3	0	1	2	3

Ⅶ. プログラム実施の結果

調査方法

結果

考察

調査方法

◆対象

島根県内2ヶ所の児童養護施設に入所している3~6歳の幼児16名（A施設10名、B施設6名）を対象に、A、B各施設にて幼児向け性（生）教育プログラムを実施した。

児童養護施設職員に対しては、プログラム実施前に、参加可能な職員を集めて幼児向け性（生）教育プログラムの内容についてオリエンテーションを行った。また、プログラム内容が職員共通の指導として生活場面に定着するように、プログラム内容と指導上の留意事項を書いたリーフレットを作成し、全職員に配布した。リーフレットを配布した職員は49名（A施設24名、B施設25名）であった。

◆効果測定方法

プログラムの効果測定は、大きく「①プログラム目標に沿った幼児の行動変容の有無と、効果の持続期間」「②プログラム目標に沿った幼児の行動変容を促す施設職員の指導上の定着と、定着が認められた場合の持続期間」の2つの視点からなされた。

①の測定には、自作の質問紙「児童の状況に関するアンケート」と立元ら（2007）の「幼保小連携のための子どもの行動傾向測定尺度（短縮版）」（以下「子どもの行動傾向評価」）を使用し、②の測定には、自作の質問紙「職員の養育指導に関するアンケート」を使用した。また、プログラムの効果があれば、施設職員の業務遂行が容易となり、職務上のストレス軽減が期待できると仮説し、渡邊ら（2003）による「児童養護施設職員のストレス尺度」を実施した。

全ての質問紙は、プログラム実施前と実施後に、施設職員が評定した。実施後の評定は、「児童養護施設職員のストレス尺度」に限り、実施後1ヶ月に1回のみ実施したが、他の3種類の質問紙は、実施後1週間、実施後1ヶ月、実施後3ヶ月に実施した。つまり、「児童養護施設職員のストレス尺度」は計2回、その他の質問紙は計4回の評定を行ったことになる。

なお、「幼児の状況に関するアンケート」及び「子どもの行動傾向評価」は幼児16名を対象とし、「職員の養育指導に関するアンケート」及び「児童養護施設職員のストレス尺度」は、管理職を除く職員48名を対象とした。

《児童の状況に関するアンケート》 p.82

本プログラムの5つの目標に対応した5つの領域から成る。性行動のルール（No1~2,18~21）、感情理解（No3~7）、生活のルール（No8~10,22,23）、清潔行動（No12~14）、自己肯定感（No15~17）の5つの領域に、各領域3~5の質問項目で構成されている。評定は4件法で、点数が高いほどプログラムが定着していることを示す。対象児童の日常生活を十分観察できる担当保育士及び担当ケアワーカー2~5名が評定した。

《子どもの行動傾向評価》 p.81

関係促進（No6,15,16,20,22）、集団行動（No10,12,13,23,27）、主張性（No14,25,26）、攻撃性（No1~3,24,28）、自己抑制（No5,17~19,21）、衝動・多動性（No4,7~9,11）の6因子で構成されている。評定は5件法で、因子ごとの高低状態が示される。対象児童の日常生活を十分観察できる担当保育士及び担当ケアワーカー2~5名が評定した。

《職員の養育指導に関するアンケート》 p.83

本プログラム内容に基づいた職員の養育指導の定着を評価するものである。本プログラムの5つの目標に対応させ、「幼児の状況に関するアンケート」の5つの領域と対になるように作成した。性行動のルールの指導（No1~4）、感情教育（No5~9）、生活のルールの指導（No10~14）、衛生指導（No16~18）、自己肯定感を高める関わり（No19~20）の5つの領域に、各領域3~5

の質問項目で構成されている。評定は4件法で、点数が高いほど指導が定着していることを示す。

《児童養護施設職員のストレッサー尺度》 p.84

I. 子どもを取りまく環境 (No 1~10)、II. 対応困難な子どもとのかかわり (No 11~22)、III. 役割遂行の困難 (No 23~29)、IV. 他職員とのかかわり (No 30~34)、V. 他機関とのかかわり (No 35~38)、VI. 職務多忙 (No 39~43) の6因子で構成されている。各項目について体験頻度 0~3、負担感を 0~3 で評価し、体験頻度と負担感の程度を掛け合わせた値 0~9 で評価するものである。得点が高いほどストレッサーが高いことを意味する。

◆ 分析

➤ 分析対象

「児童の状況に関するアンケート」と「子どもの行動傾向評価」は、4回全てのデータが揃った幼児15名(途中1名退所)分を分析の対象とした。また、「職員の養育指導に関するアンケート」は、4回全てのデータが揃っている職員34名を分析の対象とした。

「児童養護施設職員のストレッサー尺度」のデータは因子ごとに分析され、各因子を構成する項目の3/4以上で有効回答が得られた施設職員のデータのみを検定対象とした。(因子I:実施前36名・実施後42名、因子II:実施前38名・実施後43名、因子III:実施前38名・実施後43名、因子IV:実施前37名・実施後42名、因子V:実施前36名・実施後41名、因子VI:実施前38名・実施後43名)。

➤ 分析方法

「児童の状況に関するアンケート」、「子どもの行動傾向評価」は、1名の児童につき、2~5名の職員が評定しているため、分析にあたっては、質問項目ごとに平均値を求め、さらに各領域の平均値を出し、分析データとした。

「児童の状況に関するアンケート」、「子どもの行動傾向評価」、「職員の養育指導に関するアンケート」については、領域もしくは因子ごとの平均値を個体内変数とした対応のある一要因分散分析を行い、領域および因子ごとに、測定回(プログラム実施前、実施後1週間、実施後1ヶ月、実施後3ヶ月)の平均値に差があるのかを求めた。有意な差が認められた場合は、多重比較(Ryan's method)を行った。なお、分散分析および多重比較には、ANOVA4 on the Web(広島女学院大学 桐木建始 作成 <http://www.hju.ac.jp/~kiriki/anova4/>)を用いた。

「児童養護施設職員のストレッサー尺度」については、t検定を行い、実施前後の平均値に差があるのかを求めた。

➤ 結果

◆子どもの行動変容

「児童の状況に関するアンケート」について分散分析を行った結果、全領域で主効果がみられた。有意差が認められた領域について、多重比較(Ryan's method)を行った結果、「性行動のルール」「感情理解」「生活のルール」「自己肯定感」「全体」は、実施前×実施後1週間、実施前×実施後1ヶ月、実施前×実施後3ヶ月で有意差が認められた。また、「清潔行動」は、実施前×実施後1ヶ月、実施後1週間×実施後1ヶ月、実施前×実施後3ヶ月で有意差が認められた(図1)。

「子どもの行動傾向評価」の分散分析の結果については、「関係促進」「攻撃性」「自己抑制」「衝動・多動性」で主効果がみられた。有意差が認められた因子について、多重比較(Ryan's method)を行った結果、「関係促進」では有意差が認められなかった。「攻撃性」は実施前×

実施後1週間、実施前×実施後1ヶ月、実施前×実施後3ヶ月、実施後1週間×実施後1ヶ月、実施後1週間×実施後3ヶ月で有意差が認められた。「自己抑制」は、実施前×実施後1ヶ月で有意差が認められた。「衝動・多動性」は、実施前×実施後1週間、実施前×実施後1ヶ月、実施前×実施後3ヶ月、実施後1週間×実施後1ヶ月、実施後1ヶ月×実施後3ヶ月で有意差が認められた(図2)。

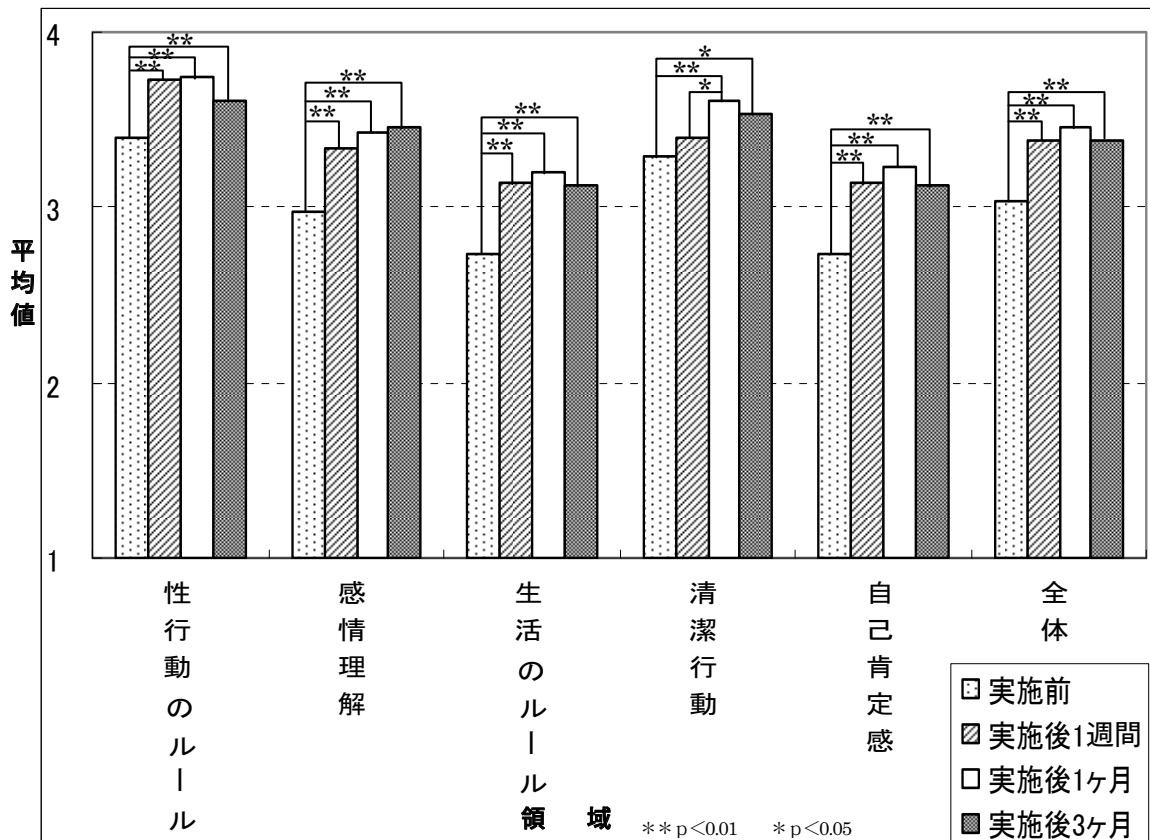


図1. 児童の状況に関するアンケート (項目別)

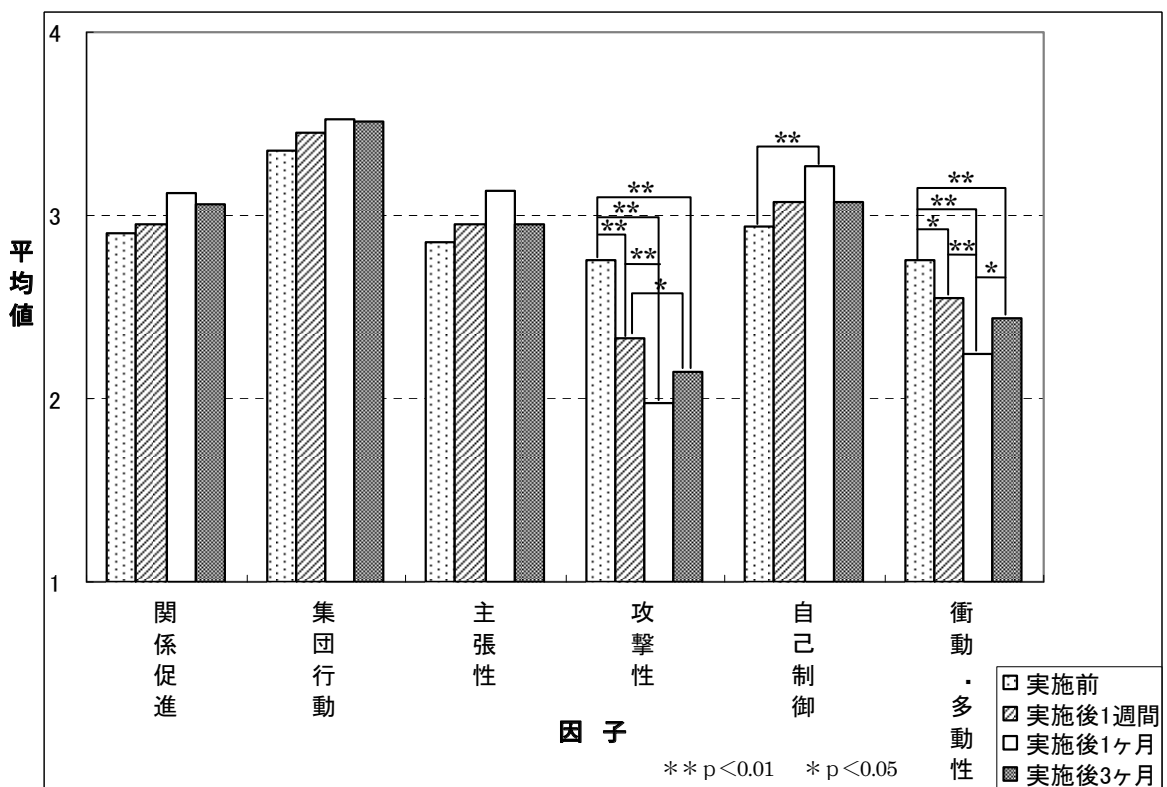


図2. 子どもの行動傾向評価 (項目別)

◆. 施設職員のストレスや指導上の変化

「職員の養育指導に関するアンケート」の分散分析の結果、「性行動のルールの指導」「感情教育」「全体」で主効果がみられた。有意差が認められた領域について、多重比較 (Ryan's method) を行った結果、「性行動のルールの指導」「感情教育」「全体」について、実施前×実施後1週間、実施前×実施後1ヶ月、実施前×実施後3ヶ月で有意差が認められた (図3)。

「児童養護施設職員のストレス尺度」のt-検定の結果については、全因子で有意差が認められた。(図4)。

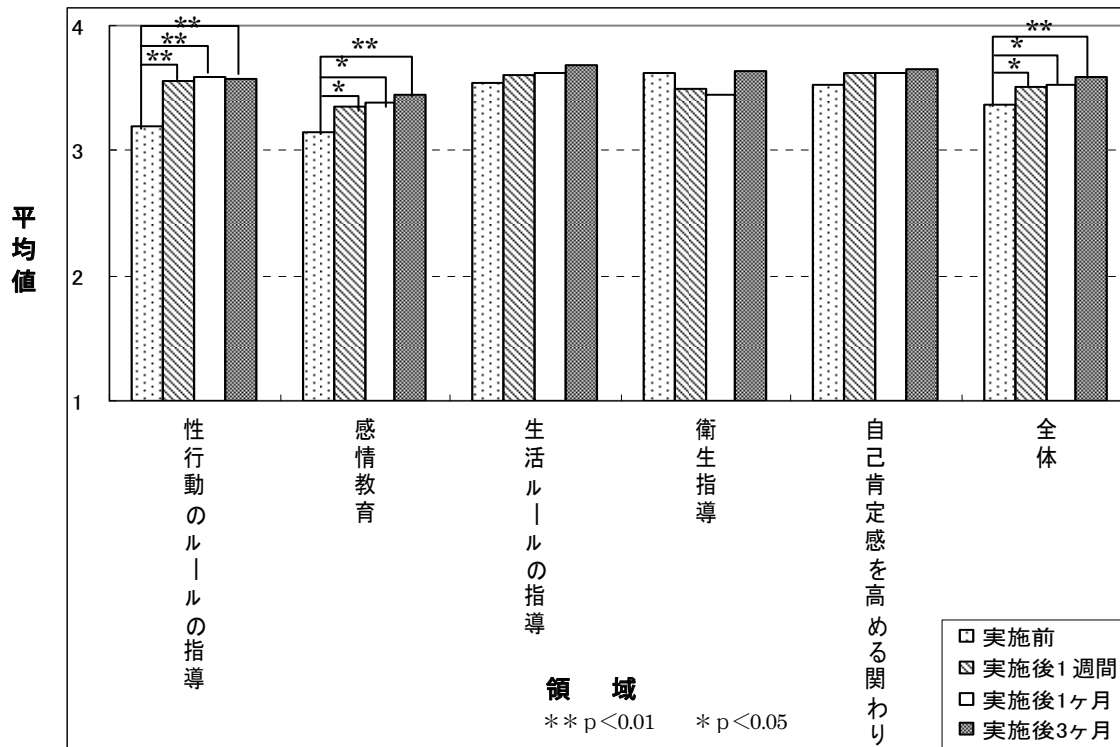


図3. 職員の養育指導に関するアンケート (項目別)

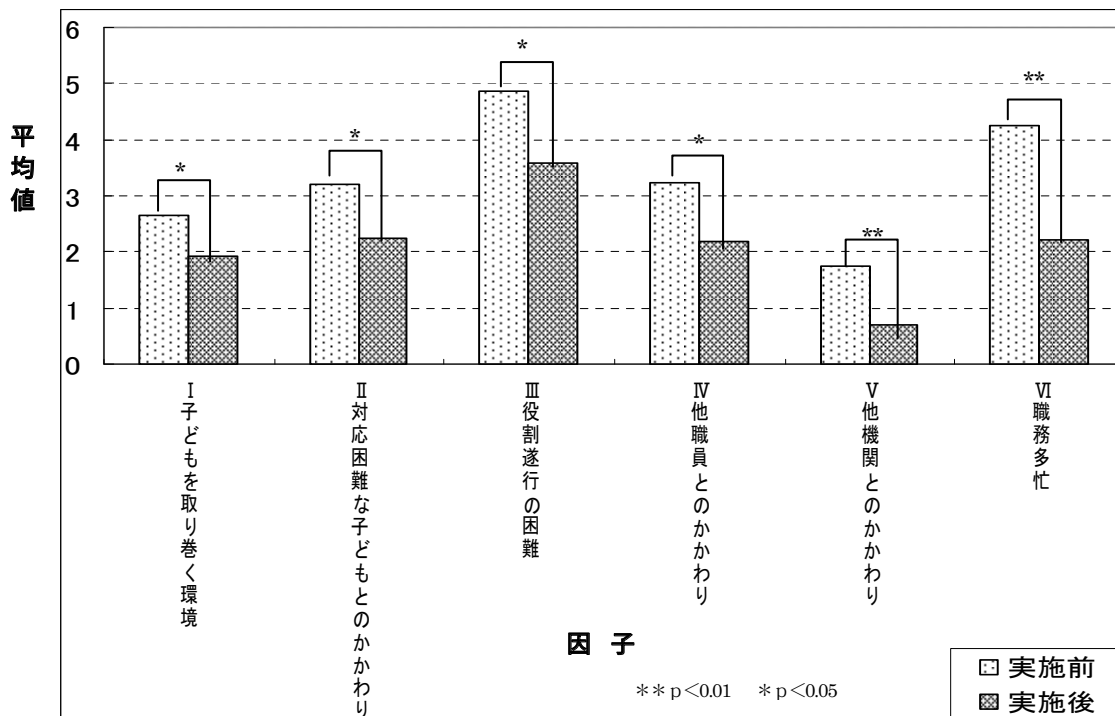


図4. 児童養護施設職員のストレス尺度

◆プログラム実施でプラス・横ばい・マイナスを示した人数

「児童の状況に関するアンケート」「職員の養育指導に関するアンケート」を、実施前×実施後1週間、実施前×実施後1ヶ月、実施前×実施後3ヶ月で比較し、点が上がっていた場合をプラス(+)、点に変化がなかった場合を横ばい(0)、点が下がっていた場合をマイナス(-)とし、それぞれの人数を出した(表4)。

「児童の状況に関するアンケート」の全領域の平均をみると、実施前×実施後1週間でプラスが14名、マイナスが1名。実施前×実施後1ヶ月で全員がプラス。実施前×実施後3ヶ月ではプラスが14名、マイナスが1名であった。

「職員の養育指導に関するアンケート」の全領域の平均をみると、実施前×実施後1週間でプラスが23名、横ばいが3名、マイナスが8名。実施前×実施後1ヶ月で、プラスが21名、横ばいが5名、マイナスが8名。実施前×実施後3ヶ月で、プラスが26名、横ばいが1名、マイナスが7名であった。

表4. プログラム実施でプラス効果・横ばい・マイナス効果を示した人数

		実施前×実施後1週間			実施前×実施後1ヶ月			実施前×実施後3ヶ月					
		平均値 の差	+	0	-	平均値 の差	+	0	-	平均値 の差	+	0	-
幼児 (15名)	性行動のルール	0.33	14	0	1	0.34	13	0	2	0.21	13	0	2
	感情理解	0.36	13	0	2	0.45	14	0	1	0.48	15	0	0
	生活のルール	0.40	15	0	0	0.47	15	0	0	0.39	14	0	1
	清潔行動	0.11	10	0	5	0.34	13	0	2	0.24	11	1	3
	自己肯定感	0.40	13	2	0	0.50	14	0	1	0.38	11	0	4
	全体	0.34	14	0	1	0.42	15	0	0	0.34	14	0	1
職員 (34名)	性行動のルールの理解	0.37	19	11	4	0.40	20	10	4	0.39	22	8	4
	感情教育	0.21	21	7	6	0.23	19	8	7	0.29	21	9	4
	生活のルールの指導	0.08	13	13	8	0.09	14	14	6	0.15	14	13	7
	衛生指導	-0.12	6	15	13	-0.18	8	14	12	0.02	9	17	8
	自己肯定感を高める関わり	0.09	12	16	6	0.09	12	16	6	0.12	15	12	7
	全体	0.14	23	3	8	0.15	21	5	8	0.21	26	1	7

✚ 考察

結果から、児童については、「児童の状況に関するアンケート」の全領域について、性(生)教育プログラムの導入による効果が認められ、実施後3ヶ月にも効果の持続が示された。また、「子どもの行動傾向評価」でも、「攻撃性」「自己抑制」「衝動・多動性」で効果が認められた。このことから、性(生)教育プログラムによって、最低3ヶ月間は、目標に掲げた性行動のルール、感情理解、清潔行動、生活のルール、自己肯定感について、効果が得られることが示唆された。さらには、これらの目標達成のみならず、自己調整機能である児童の攻撃性や衝動・多動性が低減され、自己抑制力が強まることが明らかとなった。自己調整機能の弱さは、被虐待児や発達障害児について指摘されており(杉山, 2007)、本プログラムが目指す5つの目標以上の効果が得られることが示唆された。

しかし、今後も学習の効果を維持するためには、性(生)教育の内容が生活場面で実践され続けることに加え、定期的にプログラムを実施する必要があると考える。

一方、職員については、「性行動のルールの指導」「感情教育」で、実施後3ヶ月にも効果が認められたが、「生活のルールの指導」「衛生指導」「自己肯定感を高める関わり」では効果が認められなかった。児童に比して職員の効果は乏しいと言える。このことは、職員への介入方法の改善が必要であることを示している。

今回、職員への介入は、プログラム実施前のオリエンテーションとプログラム内容と指導上の留意事項を書いたリーフレットの配布のみであった。リーフレットを読むか否かは個々の職員の意識に任されており、さらに、リーフレットの内容を生活場面での指導に生かせるかどうかは職員の養育スキルや応用力に依存される。そのため、今後、性（生）教育プログラムの内容が職員の生活場面での指導に生かされるように、職員のスキルアップ研修が必要である。例えば、児童が“わるいタッチ”をした時の関わり方や、児童間で喧嘩になりそうな時の問題解決法、自己肯定感を高めるような声かけ等が身に付く S S T (Social Skills Training) やロールプレイを取り入れた研修が考えられる。

「児童養護施設職員のストレス尺度」では、本プログラム実施後に全因子のストレスが低減していた。本プログラムのみがストレスの低減に影響を与えたとは言えないものの、少なくともストレスを増大させる結果にはならないことが示唆された。職員が児童への養育指導を学ぶこと、児童相談所との連携の中で取り組めることがストレスの低減につながるものと推測される。

【文献】

- 杉山登志郎(2007)子ども虐待という第四の発達障害, pp74-86, 学習研究社.
- 立元真, 戸ヶ崎素子 (2007) 幼保小連携のための子どもの行動傾向測定尺度の作成. 宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学, 17; 107-118.
- 柳澤正義, 岡本正子, 八木修司(2010)平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)) 子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究—性的虐待を受けた子どもの中長期的ケアの実態とそのあり方に関する研究—.
- 渡邊貴子, 田嶋誠一 (2003) 児童養護施設職員のストレス尺度作成の試み—学校教師との比較を通して—, 九州大学心理学研究, 4; 251-259.

※ 榊原文, 藤原映久(2011)児童養護施設入所児童に対する性(生)教育プログラムの効果測定, 子どもの虐待とネグレクト, 13(3); 396-408. より一部引用

VIII. 引用・参考文献

- ・静岡県中央児童相談所 (2004) たいせつなところとからだ.
- ・岩清水伴美, 守屋佳子, 市川のぞみ, 他(2006)児童養護施設における性教育の取り組み. 子どもの虐待とネグレクト, 8;153-158.
- ・長谷川義史(2006)おへそのあな, BL 出版.
- ・PNY (Peer Network Yamagata) 渡會睦子 CD-ROM 小学生向け 生きるための心の教育 (性教育), 社団法人日本家族計画協会.
- ・北村邦夫監修(2007)赤ちゃんが生まれる, 金の星社.
- ・花田千恵(1995)アイデアいっぱい性教育, 高文研.
- ・Barbara L. Bonner, C. Eugene Walker, Lucy Berliner (1995) Treatment Manual for Cognitive-Behavioral Group Therapy for Children with Sexual Behavior Problems.
<http://www.ncsby.org/pages/publications/CSBP%20Cognitive-behavioral%20child.pdf>
- ・近藤とも子(2003)ケガと手当 こまったときによむ本・ケガ編, 国土社
- ・安藤由紀(2001)いいタッチわるいタッチ だいじょうぶの絵本2, 岩崎書店.
- ・森田ゆり(1997)あなたが守る あなたの心・あなたのからだ, 童話館出版.
- ・サリー・J. クーパー(1995)「ノー」をいえる子どもに, 童話館出版.
- ・森田ゆり(1999)子どもと暴力 子どもたちと語るために, 岩波書店.
- ・日本こどものための委員会(2006)セカンドステップ.
- ・太田敬志, 木全和巳, 中井良次, 他 (2005) 子どもたちと育みあうセクシュアリティー児童養護施設での性と生の支援実践一, かもがわ出版.
- ・ジェニー・ハートロッシ(1990)『わたしのからだよ!』教則本, 木犀社.
- ・ワーウィック・パドニー, エレーン・ホワイトハウス(2006)ワークブック おこりんぼうさんとつきあう25の方法, 明石書店.
- ・本田恵子(2002)キレイやすい子の理解と対応ー学校でのアンガーマネージメント・プログラムー, ほんの森出版.
- ・榊原文, 藤原映久(2010)児童相談所と児童養護施設との連携に基づく性(生)教育プログラムの取り組み. 子どもの虐待とネグレクト, 12(2);116-122.
- ・榊原文, 藤原映久(2010)児童養護施設入所児童の性問題行動についてー児童養護施設職員へのフォーカスグループインタビューを通じてー. 子どもの虐待とネグレクト, 12(2);386-397.
- ・榊原文, 藤原映久(2011)児童養護施設入所児童に対する性(生)教育プログラムの効果測定, 子どもの虐待とネグレクト, 13(3);396-408.
- ・立元真, 戸ヶ崎素子 (2007) 幼保小連携のための子どもの行動傾向測定尺度の作成. 宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学, 17;107-118.
- ・柳澤正義, 岡本正子, 八木修司(2010)平成21年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究ー性的虐待を受けた子どもの中長期的ケアの実態とそのあり方に関する研究ー.
- ・渡邊貴子, 田嶋誠一 (2003) 児童養護施設職員のストレス尺度作成の試みー学校教師との比較を通してー, 九州大学心理学研究, 4;251-259.
- ・Paul Ekman (2003) Emotions Revealed: Understanding Faces and Feelings, Weidenfeld & Nicolson, London [管靖彦訳(2006)顔は口ほどに嘘をつく, 河出書房新社]
- ・西澤哲(1994)子どもの虐待ー子どもと家族への治療的アプローチー, pp. 27-53, 誠信書房
- ・杉山登志郎, 海野千畝子(2009)児童養護施設における施設内性的被害加害の現状と課題. 子どもの虐待とネグレクト, 11;172-181.

作成者名簿

所属	職種	氏名
島根県中央児童相談所	児童心理専門員	藤原映久
島根県中央児童相談所	主任保健師	榊原 文

平成23年11月作成

～問い合わせ先～

島根県中央児童相談所

住所：〒690-0823

島根県 松江市 西川津町 3090-1

電話：0852-21-3168

FAX：0852-21-3163

H P：<http://www.pref.shimane.lg.jp/chuojiso/>

※性(生)教育プログラム資料・台本集は、中央児童相談所のホームページにある
PDFファイルからダウンロードすることができます！

